

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
赤上 陽一	あかがみ よういち	秋田県産業技術センター 兼 秋田県産業労働部	IoT技術の躍進を支える電子デバイス、通信技術のさらなる高度化が要望されている。そのためには必要とされる半導体技術やストレージ技術が著しい発展が待望されている。我々はこれらのユーザー技術の基盤となる研磨技術の更なる飛躍を実現するために、いわゆる電界砥粒制御技術を発明し提案している。このような日本固有の製造技術が極めて有用である。さらにこのような流体の配置制御技術から攪拌技術に展開し、医療技術、分析技術など多方面に展開中である。本技術群を通して、企業のイノベーションとはなんぞや、そしてこれらを基に地域活性化事業への展開を手掛けている。
安形 真	あがた まこと	合同会社アグリホリック	<p>&lt;農業関連事業&gt; 農業(生産～販売)、農業体験(ツアーの受入中心)、市民農園、農家レストラン</p> <p>&lt;地域活性化事業&gt; 奥三河若手起業家プレゼン大会、若手起業家育成コミュニティ「新城志塾」、定住促進事業(予定)</p> <p>現在は農業関連事業で収益を上げながら、新都市への交流人口の増加に寄与しています。 2015年より国指定文化財「大野宿 鳳来館」の運営を委託され、売上高を前月比170%を達成。経営状況を改善しつつ、地域内のネットワークを活用し奥三河への誘客促進にも貢献しています。 その傍ら、域内の若手起業家育成に力を注ぎ、地域資源を活用した事業を中心に若者の定住(仕事作り)と域内の新たな魅力作りに取り組んでいます。</p>
秋元 祥治	あきもと しょうじ	NPO法人G-net/岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz/滋賀大学	<p>▼G-net NPO法人G-netは、岐阜を拠点に15年前より、中小企業の社長の右腕として熱意ある若者を半年間右腕として送り込む実践型インターンシップや、「みぎうで」就職支援を行っています。高校「政治経済」の教科書にも掲載されています。年間で1万人を超える若者に地域の中小企業の魅力を伝え、約100名が半年間等の実践型インターンシップに参画しています。「若者が選ぶ魅力的な中小企業100選」といった冊子刊行を含め、中小企業への「みぎうで」候補としての就職支援も展開しています。</p> <p>▼OKa-Biz OKa-Bizは岡崎市・岡崎商工会議所が設置した「売上アップに特化」した中小企業支援センターです。富士市産業支援センター・f-Bizをモデルに全国最年少センター長として、成果続出から相談は1ヶ月半待ちに。開設2年で当初目標の300%を超える来訪相談件数や、年間約50件の視察受け入れ、首相官邸での表彰や中企庁長官も来訪。f-Biz・OKa-Bizをモデルに、各地で新たな産業支援センターの立ち上げがH28年度以降続々と予定されています。</p>
飯田 一民	いいだ かずたみ	有限会社 食創造さんだかん	<p>&lt;アドバイザー/伝承名人としての派遣履歴他&gt; 北檜山町・松前町・和寒町・下川町・長沼町・日高町・占冠町・小清水町・北海道商工会連合会講師・網走市・道南3町(松前・上ノ国・江差)広域連合・留萌支庁・空知支庁 事業評価委員・全道市長会基調講演など</p> <p>&lt;アドバイザー/伝承名人としての実施取組み&gt; 下川エミュー肉燻製開発・松前町「あわびごはん」開発・瀬棚町海産加工品開発・その他商品名・デザイン等の創出・百貨店北海道物産展企画協力(三越・大丸・西武・丸井等)</p> <p>「農家の友」「しゃりぱり」等に執筆「生産現場からの新しいビジネスチャンス」など 道内各地域の道の駅再生活活性化事業・地元ブランドの推進を手掛け「食」からの地域活性化を勤めている。</p> <p>※ 道の駅「ライスランドふかがわ」設置企画協力 ※ 道の駅「北前船松前」総合プロデュース 他 ※ 生産現場と都市部との協働事業として「北海道応援宣言プロジェクト!!」 札幌の飲食店で毎月道内各地域の食事会を開催(総合企画監修) ※ 百貨店と協力して北海道地域・生産者の食材・加工品のトライアル販売を実施</p> <p>&lt;(有)食創造さんだかん概要&gt; 1983年珈琲専門店サンダカンとして開店 1988年レストランサンダカンとして現地に新規移設開店 1993年全国北海道物産展へ参画、(株)三越・(株)大丸他 1999年食創造さんだかん工房として食肉加工工房を併設する 2003年深川市の委託を受け、「道の駅」内でレストラン運営</p> <p>2014年深川市ものづくり事業で「牛こら」「旨とん」の商標特許取得</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
池上 文雄	いけがみ ふみお	千葉大学 環境健康フィールド科学センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献支援事業の一環として、各地の自治体の市民向け薬草講座などで、市民参加型で身の回りの身近な薬草探索などを実践。</li> <li>・科学技術振興機構主催のサマー・サイエンスキャンプを開催して全国の高校生を対象に漢方と薬草の実践講座、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の高校生を対象に教育研究指導などを実践。</li> <li>・東日本大震災の復興と漢方薬資源植物の国産化推進の一環として、福島県、宮城県を中心に産官学連携の会津人参や当帰等の薬草栽培を通じた地域産業活性化の推進を支援。</li> <li>・「漢方と薬草」をキーワードとした「夏休み薬草教室」「地域力向上支援事業」などの効果的な協働や共創を生み出し、また、内発的な活動を支援するための情報発信などを実践。</li> </ul>
石崎 英治	いしがき ひではる	株式会社クイージ / NPO法人 伝統肉協会	<p>北海道新冠町、新得町及び島根県美郷町において、エゾシカやイノシシ等の野生鳥獣における生産工程のマネジメントや、農村地域における体験ツアー等の観光・交流の取組に携わる。</p> <p>また、レストラン経営、イベントへの臨時出店、テレビ・ラジオ・新聞をはじめ各メディアへの出演、料理教室の実施等を通じて「野生鳥獣を食べる文化」の普及・啓発活動を精力的に展開。</p>
石原 修	いしはら おさむ	生活協同組合 コープおきなわ	<p>1、6次産業化での地域へのアプローチ ①1次産業側に対し加工所の設置と販売所の設置でのお手伝い ②1次、2次、3次が連携した商品開発を行い、1次産業側で商品の権利を持ち、地域振興につなげる、両方からのアプローチでお手伝いをしています。</p> <p>2、キャリア教育での地域へのアプローチ。小中学生と一緒に商品開発を行うことで、地域への愛着(誇りづくり)をお手伝いしています。</p>
伊勢田 博志	いせだ ひろし	NPO法人ツーリズム研究機構 / (有)サポート・エムツウ	<p>○イベント業務管理士(1級)及びフードコーディネーター1級(商品開発イベントメディア)取得者、また内閣府クールジャパン地域プロデューサーとして各地の活性化事業を支援しています。</p> <p>農林水産省支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅、日帰り温泉、国民宿舎等交流ターミナルの企画・開業プロデュース 多数</li> <li>・特産品開発及び販路支援事業など多数</li> </ul> <p>経済産業省支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアより水俣への環境教育旅行の誘致事業プロデューサー</li> <li>・地域資源を活用した商品開発及びマーケティング戦略の策定(多地域)</li> <li>・クールジャパン関連事業のプロデュース(橋街道プロジェクト)</li> </ul> <p>内閣官房</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方の元気再生事業:4地域(北広島町、養父市、嵐山、兵庫県福崎町)プロデューサー</li> <li>・内閣官房地域活性化モデルケース「橋街道」コーディネーター</li> </ul> <p>企業など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティホテル連盟インバウンド誘致海外セールスコーディネーター(欧州・アジア)</li> <li>・大手ハムメーカーマーケティング研修(商品開発など)</li> <li>・シティホテルなどのマーケティング研修(企画塾・プライダルフェアプロデュース等)</li> <li>・鉄道系会社の新規事業創出・企画アドバイザー業務</li> </ul> <p>など</p>
井手 修身	いで おさむ	アイデアパートナーズ(株)	<p>※地域の資源(人・モノなど)を編集及び加工し、マーケティング(=売れる仕組み作り)や組織の立上げ、活性化の具体的手法を現場に入って推進します。</p> <p>◆地域資源活用型のビジネス支援と地域活性化 具体的には、観光・集客・物販領域のバリューアップとして3つ展開。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①まち中回遊、まち歩き等観光交流事業支援、</li> <li>②特産品開発、メニュー開発、農家レストラン立上げ支援、</li> <li>③観光・集客施設の診断・再生、売上向上支援</li> <li>④観光地域づくりプラットフォーム推進機構『常務理事』日本版DMOの組織づくりを支援。</li> </ol>
伊藤 直弥	いとう なおや	一般社団法人栗のなりわい総合研究社	栗栽培、栽培研究、農産加工、販売、栗を活用した地域振興のための講習と講義の実践、栗以外の作物の栽培、加工、の研究と販売

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
井上 拓磨	いのうえ たくま	HanaLab./一般社団法人ループサンパチ	2012年に長野県上田市に長野県初となるコワーキングスペースHanaLab.を開設。現在は上田市内に3店舗有し、総床面積1000坪の日本最大規模のコワーキングスペースを運営している。また、単純なコワーキングスペースにとどまらず、全国的にも珍しい、行政、商工会議所や経済団体と連携し様々な地域課題に取組んでいる。 <主な取り組み事例> ・空き店舗活用したコワーキングスペースを3カ所開設 ・上田市・商工会議所・産学官コーディネート組織と連携した創業支援 ・インターンを活用した学生の社会との接点作り ・子育て中の女性の社会復帰支援 ・移住定住に関する取り組み
伊原 和彦	いはら かずひこ	ETC 教育旅行コンサルタント	◆観光・交流(教育旅行や着地型観光誘致) 観光協会・商工会・受入協議会等の教育旅行誘致アドバイザー 体験プログラムの開発・インストラクター育成 第一次産業を活用した民泊受入組織の人材育成・マーケティング支援指導 観光振興・地域活性化をテーマとした講演・セミナーの講師 着地型観光(ニューツーリズム)の講師や商品造成・人材育成・支援指導 ◆地域産業・イノベーション・農商工連携 地域活性化支援アドバイザー 地域特産品の開発・食の開発やマーケティング支援指導
今村 展大	いまむら のぶひろ	I・Sコーポレーション	沖縄県において地域産品の企画開発(沖縄県最優秀県知事賞受賞)、Eコマース、WEBマーケティング会社設立を経て、2005年沖縄県産業振興公社専門アドバイザー、沖縄県商工会連合会エキスパートに就任。その後、地域特化型グルメサービス「ちゅらグルメ」を創設。県民限定のお得なサービス「ちゅらとく」創設など観光媒体業において数々のサービスの立ち上げを行う。2011年からは更なる地域発展を描くビジネスを追求すべく、行政との連携を深め、2013年には日本初の取り組みである映画をツールとした地域活性化を沖縄県名護市名護大通にて実施。映画「がじまる食堂の恋」を製作、全国公開並びに全国の蔦屋にてレンタル・セル展開。その後は、マイナビとのジョイントベンチャーによる台湾香港向け観光媒体「珍遊沖縄」を創刊。2014年には株式会社全国商店街支援センター「商店街よろず相談アドバイザー」、経済産業省キーパーソンに就任する。2016年には、これまで培ってきたブランディングノウハウを体系化し、新任担当者でも90日でブランディングできる「メイク・ブランド・メソッド」を確立。地域活性を目的とした強力な地域ブランド構築に主力をおいて活動している。
岩崎 徹	いわさき とおる	株式会社アイダ	①講演・ワークショップ実演 地域住民が主体となって、地域ならではの資源を再発見し、編集することで、個性的で誇れる地域ストーリーを作るためのワークショップのファシリテーション。 ②地域経営人材養成 地域経営力とは、事業構想能力、マーケット創造能力、資金調達能力、そして人材育成能力。これらを持った人材を見つけ出し、事業環境を整える講座運営。 ③地域ビジネスサポート: 地域ストーリーをもとに新たな市場を作り出すビジネスをつくり出すための支援。人材育成、事業構想、事業計画、資金調達、事業経営を実践的に支援。 ④地域コミュニティ形成: 地域ビジネスのステイホルダーは、顧客、株主、社員に加え、地域住民。持続可能な地域ビジネスは彼らを幸せにするビジネススキームを作り上げる。 ⑤事業創業・協業: 新たな地域事業を自ら実現し、地域住民や事業者とともにビジネスを興し、事業運営を行う。アドバイザーやコンサルタントだけでなく、自らもプレイヤーとして事業に関わっていく。 その他、司会、執筆、事務局運営、マーケティング、PR業務など。
岩崎 亘	いわさき わたる	株式会社イージェイ	株式会社リクルート在籍時、クライアントである東証一部上場プライダル企業と、伝道師の地元であるみかん農家(実家含む)を繋ぎ、CSR×教育研修として、人手不足の農家の農作業の手伝いや、廃棄していた摘果みかんを使用した酢を開発し特産品として販売するというプロジェクトの推進を支援。 株式会社フォーバルでは、神奈川県伊勢原市にある「石田牧場」の6次化事業であるジェラート屋の立ち上げ～軌道に乗せるところまでのコンサルティングを行い、人気店に育て上げた。 農業法人である株式会社和郷では、都市と農村を繋ぐ「農園リゾート」という新しいコンセプトを打ち出した滞在型施設「THE FARM」や「THE FARM CAFE」等を立ち上げた。現在は、廃棄するか二束三文で売られてしまう規格外農産物や未利用農産物を活用し、ゴールドプレスジュースという付加価値の高い商品を製造・販売している。熊本県合志市の農産物だけで作ったジュースを開発し、東京にある自社店舗でPRしながら販売することで、地域や地域の特産品の認知度向上に貢献するなど、トレンドに上手に乗せた地域活性化を行っている。
臼井 純子	うすい じゅんこ	オフィス・ウスイ/NPO法人日本風景街道コミュニティ	・地域活性化にかかわるさまざまな事業について、経営視点から事業の構築、プロモーション、継続的な運営手法についてアドバイスをおこなっています。 ・地域の資源「ひと、もの、金、情報」の有効な活用方法、人材発掘と育成など、その地域の特性を活かした地域活性化策(観光、産業振興、移住・交流など)を、地域の住民とともに、地域に根付くやり方で実施していくことを何より大切にして、取り組んでいます。 ・地域の事業者の「家業」をどう「企業」まで底上げしていくか、経営のイロハについてわかりやすく指導・育成を実施しています。 ・地域リーダー、女性の起業についての育成・指導・助言を行っています。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
内田 勝規	うちだ かつのり	(株)オフィス内田	<p>《講演記録》                      北海道経済同友会、中小企業家同友会、経営合理化協会、北海道庁、鹿児島県、各地商工会、帯広信金、北海道銀行、福岡銀行、楽天、目白大学など</p> <p>《講演テーマ》                      地域ブランドについて、売れる物作りについて、食の可能性と課題、首都圏の顧客ニーズについて、北海道物産展に見る地域ブランド</p> <p>《マスコミ紹介記事》                      &lt;テレビ&gt;                      日本テレビ『リアルタイム』『秒ヨミ』『ズームインスーパー』『ズムサタ』『スッキリ』                      テレビ東京『ルピコンの決断』『日曜ビッグバラエティ』『グルメ魂』『戦士の逸品』『ワールドビジネスサテライト』                      NHK『クエスタ』                      BSフジ『プライムニュース』、NHK、テレビ朝日、TBS各番組                      北海道各局『HBC』『STB』『HTB』『UHB』『TVH』</p> <p>&lt;新聞&gt;                      日本経済新聞、朝日新聞、日経MJ、北海道新聞、十勝毎日新聞</p> <p>&lt;書籍&gt;                      フォーブス、週刊ダイヤモンド、日経トレンディ、知知、戦略経営者、ストアーズレポート、クオリティ                      新潮社『旅』(連載中)</p>
内田 友紀	うちだ ゆき	株式会社リ・パブリック	<p>■“中規模都市・福井市(人口約27万人)にて、地域をこえた人の流れと仕事をつくる”をテーマに「未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト   make.f」プロジェクトリーダー。産官学の連携プロジェクト(2016-)。                      ・福井・関東・関西の人々をつなぎ、世代ごとの人の流れや新たな時代の働きかたをつくる取り組みを実施。また、ウェブ・タブloid・映像、SNSなど複数メディアによる、参加型のプロジェクトアーカイブと発信を実施。                      □小さなデザインの教室・XSCHOOL プログラムディレクター                      プロジェクト・事業を立ち上げながら、学びと実践を繰り返すデザインの教室を企画・運営。次代のデザイナーを育て、地域の産業をアップデートすることを目指す。(make.fの一環)</p> <p>■福岡県福岡市(人口約150万人)にて、産官学の連携のもと、社会課題を源泉にビジネスを生むインキュベーションプログラムの立ち上げ、企画運営を担う(2013-2016)。参加者は、福岡市民と、東京・九州を中心にした大手企業の研究開発部門。デンマークデザインセンター、アムステルダムメディアラボなどとも連携。</p> <p>■成熟企業にて連続的イノベーションを起こす人材・シリアルイノベーター研究会を、国内の複数企業の研究開発部門とともに実施(2013-2015)。アメリカ・イリノイ大学工学部教授らによる研究と連携。株式会社リ・パブリックのメンバーによる監訳本「シリアル・イノベーター - 非シリコンバレー型 イノベーションの流儀」がベースとなる。本研究により見出された イノベーターが育つ環境・関係性などの要素を、地域にも応用し、プロジェクト設計に取り組む。</p> <p>■“街の人”を主役にした新しいガイドブック、COMMUNITY TRAVEL GUIDE「福井人」の企画・出版にプロジェクト発起人の一人として関わる(2013)。掲載する人の選定・取材・執筆・資金集めまで、徹底して参加型を実現し、オンラインを含めて数千人が関わった。</p> <p>■ブラジル州政府の都市開発局にインターンシップ参加(2012)。国連サステナブル・シティ・アライアンスの州適用に向けた事例研究、導入メソッド開発、接続プログラムの検討等を行った。</p>
江戸川 泰路	えどがわ たいじ	新日本有限責任監査法人	<p>大学、中央省庁、地方自治体、金融機関等との関わりを活かして、我が国の新産業創出及び成長をサポートするのが私の活動です。近年は特に大学発ベンチャーや、大企業発ベンチャーの創出、成長に力を注いでいます。また、ソーシャルプロジェクトをプロデュースするNPO法人cut-jp(<a href="http://cut-jp.org/">http://cut-jp.org/</a>)にも理事として参画し、地域活性化等の社会課題解決にも取り組んでいます。</p>
岡崎 英人	おかざき ひでと	一般社団法人 首都圏産業活性化協会	<p>経済産業省実施の産業クラスター計画の推進機関として、広域多摩地域(埼玉県南西部・東京都多摩地区・神奈川県中央部=TAMA地域)が世界有数の環境に配慮したものづくりの新産業創出拠点となることを目標に掲げ、TAMAのポテンシャル(多数の優秀な中小企業や理工系大学の集積など)を活かして、産学官に金融を加えた人的ネットワークの構築・活用(TAMA協会には約150名の登録コーディネータがおります。)と企業の新事業創出活動を支援する施策の立案・実行を進めています。特に、最近では、日本の他地域との「広域的な連携」や、市場に大きなインパクトをもたらす研究開発・技術開発につなげるための「大手企業との連携」、市場として魅力がある中国を初めとしたアジアにおいて、「アジア企業との連携による販路開拓」支援等の事業に注力しています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
尾形 恵子	おがた けいこ	有限会社ティップス	マーケティング、マーチャンダイジング、販売戦略や広告戦略を得意とし、現在は主に食品製造業、食品小売業、飲食業、旅館ホテル、農業法人等を中止に、①新商品開発や事業開発、店舗開発、②講演・研修業務(商品開発、マーチャンダイジング、マーケティング、事業計画作成、新規創業、販売促進等のテーマが中心)③経営改善や事業再生支援、④IT活用による販売や販促支援、広告戦略の立案や広告媒体の企画・監修等を手がけている。1998年に通産省(現経済産業省)の新規成長産業連携支援事業にて旧中小企業事業団の委託を受け、コーディネーターとして活動。2001年頃より、地方の中小・ベンチャー向け経営コンサルティング業務をメインにシフト。複数の公的支援機関等にて主にベンチャー企業や成長性の高い中小企業の新事業開発支援、アグリベンチャー支援、経営改善支援の他、公設試の研究評価や政府系の技術開発型事業の研究評価を手掛ける。2008年より3年間産学連携事業にて科学技術コーディネーター業務(H20年度文部科学省地域学術振興事業、H21年度文部科学省都市エリア産学連携促進事業、H22年度文部科学省地域イノベーションクラスタープログラム(ライフサイエンス分野))に携わった。
岡田 基幸	おかだ もとゆき	財団法人上田繊維科学振興会(AREC)	地方における新事業創出、新産業創出は、日本の急務の課題ではありますが、未だ多くの課題を抱えているのが現状です。また、地方では、首都圏・大都市圏の成功モデルの単なる真似ごとだけでは解決できないことが多く、地方都市独自の事業創出、新産業創出への仕掛け・取組みが必要です。 上田市産学官連携支援施設(浅間リサーチエクステンションセンター(AREC))は、信州大学との産学官連携による新事業創出、新産業創出を目指し、上田市が文部科学省の研究交流促進法の認定と経済産業省の補助金を受け、2002年に信州大学内に設置した施設です。早や8年を経過し、地方都市発の数多くの新事業が生まれてきております。さらには、「設置以来満室」「地域中小企業180社超の有料制会員組織の構築」「事務局少人数体制」により、設置主体の公的支援にたよらない自立運営を可能にしております。「地方」という厳しい環境下ではありますが、人財をはじめとした地域の素材をじゅうぶんに活かし最高のパフォーマンスを出し続けています。
岡本 英志	おかもと ひでし	マルチプロデュースオフィス プラス	経営革新や地域振興・農商工連携などは、言葉による事業化プランは立てられるが、具体的に行き届いて実績を上げるところまでたどり着ける事業者は多くない。机上のプランニングではなく、事業者と並走しながら、企業の潜在能力を引き出し、営業方法やプレゼンテーション方法などもプロデュース。地域資源と地域産業の連携を推進しながら、農商工連携・6次産業化などのアライアンスを通じて、地域産業の振興や街づくりに貢献しています。
奥村 伸幸	おくむら のぶゆき	(株)じゅうバレッジ・(株)おおいた観光サービス	環境保全のための高山動植物の保護活動・植物等の定点観測・地熱発電と自然との共生の取り組みと提言・地域企業のCSR推進・清涼飲料水自販機と地域貢献との作業提言
小野田 弘士	おのだ ひろし	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科	エネルギー・資源循環、モビリティ等を専門分野としており、全国各地でのスマートコミュニティプロジェクトや再生可能エネルギー、未利用エネルギー等に関するプロジェクトの創出を支援している。とりわけ、自らベンチャー企業を創業した経験を生かし、指導・助言のみならず事業化に向けた民間企業のコーディネーター、官民連携スキームの構築支援等を得意としている。具体的には、下記の役割を担うことが可能である。 ・地域特性に応じたスマートコミュニティプロジェクト等のコンセプトデザイン ・再生可能エネルギー等を活用した自立・分散型エネルギーシステムの構築 ・地域ニーズに適合したソリューション(エネルギー、モビリティ、ICT等)の構築 ・企業誘致およびPFI/PPP型事業モデルの設計 ・モニタリングおよび効果測定 等
甲斐 寛人	かい ひろと	ランドブレイン株式会社	中心市街地商業活性化アドバイザーとして、中心市街地活性化基本計画の作成、中心市街地活性化協議会の運営に関するアドバイス等を行ってきました。また、中心市街地タウンマネージャーとして現場における実践的な活動も行ってきました。また、商店街活性化アドバイザーとして、商店街の活性化に関するアドバイスも行っています。  地方創生の人ロビジョン・総合戦略の策定支援や、総合戦略に基づく地方創生のための事業の立ち上げ支援に携わっています。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
笠原 暁	かさはら ぎょう	有限会社Gyolighthouse	<p>平成20年、平成21年近畿経済産業局と「中小・ベンチャー企業における映像配信を活用した新たな販路開拓等支援策の検討に関する調査事業を行う。</p> <p>平成23年度中国経済産業局「地域真正町産業創出促進事業」を行う。島根県雲南市PR大使に就任。地域活性と販路開拓支援事業。京都市地域産業、伝統産業の米国販路開拓支援事業。</p> <p>石川県産業振興財団講演事業 大阪東信用金庫共同販路開拓支援事業 岡山市「動画を用いた販路開拓支援」 近畿経済産業局米国販路開拓テストマーケティング事業 千葉県産業振興財団「千葉ラボ」にて講演事業 米国、プリンストン商工会議所、ミッドジャージー商工会議所、ニュージャージー州商工会議所と協業で日本の中小企業販路開拓イベントを開催</p>
笠原 秀紀	かさはら ひでのり	いなほコンサルティング	<p>問題解決・企画創造のグランドデザイナーとして、組織、地域の問題解決や人々や地域の夢の実現に取り組んでいます。</p> <p>1)コーディネイト・プロデュース 地域住民、行政、企業、外部専門家など関係者の協働体制を構築。対立を超え、各種技術、仕組みを含む協働体制を創造し、問題解決、企画を実現に近づけます。本手法では、「仕組みの中核・デザインをどのように作るか」が最大要点になるので、テーマはあまり問いません。下記の例の他、震災など災害復興、ヘルスケア、食、農、社会貢献の資金調達など様々なテーマでの問題解決を行っております。</p> <p>【環境分野事例】関係者協働体制の構築による環境汚染地域の問題解決。地域のダイオキシン問題解決(ダイオキシン排出量は、住民、行政、事業者の連携により、焼却炉技術だけでは出せない成果が出せる)。「省エネをすると経営がよくなる(省エネ以上の収益効果)」という新メソッドの民間企業群への導入により、地域の企業群が環境に良い活動と経済的発展を両立させる。</p> <p>2)新規事業開発(地域版、全国版) 企業1社の事業開発ではなく、地域モデル化、全国展開により、地域や広域的な活性化、業界および経済活性化の実現支援。 【事例】フロン回収技術の開発・技術公開・フロン回収事業の立ち上げ。全国の行政システム(冷蔵後、空調回収)と連動し、行政と協働する地元の小規模事業者の新ビジネスモデル構築。業界は事業用設備等からのフロン回収の新規事業成立。派生事業含み、年間数百億円の市場に成長。</p> <p>3)(地域の)問題解決スキルアップ支援 地域の「問題解決ができる力」を向上させていく。前掲1)コーディネイトおよび、2)のスキル・ノウハウの一部を地域に渡していく。問題解決するのは地域であり、地域住民。前掲1)2)よりもこちらの方が地域活性化力は格段に向上する。前掲1)は当方が引き上げた後に衰退するケースもある。</p> <p>4)(地域の)企画・創造力開発支援 地域の未来や願うビジョンを地域の人々で達成できるように、アイデアを出し、夢の実現、問題解決ができる力を向上させていく支援。主役は地域の人々である。当方のノウハウを地域に移していく支援。前掲3)と同様に、地域の力が向上する。</p> <p>5)災害復興&amp;予防BCP/M融合メソッド 阪神大震災以降、現場復興コーディネイト、BCP/M(事業計画マネジメント)支援、および、それらを融合した支援。個別企業や組織のBCP/Mを超えた、地域(連携)BCM構築の支援。</p>
梶川 貴子	かじかわ たかこ	株式会社 ウェルネスアリーナ	地域の特性を活かした、産業振興および活性化のサポート。マーケティング戦略の立案および実行など。
春日 隆司	かすが たかし	特定非営利法人しもかわ森林未来研究所(北海道下川町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方創生総合戦略</li> <li>○森林バイオマス活用による地域振興</li> <li>○二酸化炭素吸収・削減クレジット創造</li> <li>○環境未来都市</li> <li>○自然資本</li> <li>○持続可能な開発目標(SDGs)準拠のまちづくり</li> <li>○その他地域振興全般</li> </ul>
勝本 吉伸	かつもと よしのぶ	株式会社シンセニアン	<p>農産物直売所の出荷者や運営者、行政関係者を対象とした講演が年間100回以上に上る。また、販売額の低迷している直売所に対する経営改善や農産加工品の開発支援等を目的とした各地の直売所の訪問も、年間100か所以上を数える。</p> <p>講演や直売所の訪問では、直売所の責任者であった実経験と知識、農業改良普及員や農協営農指導員の経験を生かし、現場に密着したコンサルティング業務と身近で具体的な情報提供、さらには農産物の栽培対策と加工品の販促対策に重点を置いている。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
加藤 孝一	かとう こういち	カルネコ株式会社	<p>【理念】『日本の森と水と空気を守る』</p> <p>【しくみ】環境貢献プラットフォームEVI ※90の森林クレジット(県別カバー率81.8%)預託</p> <p>【目的】森と企業と消費者を結び、クレジットの流通促進、環境保護の支援を行う</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■規格外のりんごをドライフルーツ化。1袋1円が森林支援に!</li> <li>■規格外の椎茸を環境貢献型商品としてブランド化</li> <li>■地域住民による電気代節約活動と地域経済の活性化を支援</li> <li>■国産材・間伐材の利用促進のための販売サイト構築・稼働</li> <li>■全国の森林保護を支援するキャンペーンの企画・実施(4年目)</li> <li>■被災地の森林保護活動を支援する防災キャンペーンの企画・実施(3年間)</li> <li>■お買い物の決済1タッチ1円(SUICA・PASMO)で森林保護支援!</li> <li>■観光と環境貢献の融合=GREEN&amp;CLEANリゾートの推進</li> <li>■CO2排出ゼロの道の駅・日野川の里にちなん(鳥取県日南町)のオープン準備～運営に参加。日本カーボンオフセット大賞農林水産大臣賞受賞を支援。</li> </ul>
金井 藤雄	かない ふじお	生薬コンサルティング/明治薬科大学	<p>1、ベトナムにおける桂皮の栽培について事業化に成功し村全体の活性化につなげた。2、ロシアのアルタイ州などにおいて甘草の野生収穫および栽培・集荷を行い地域の活性化へつなげた。3、ロシアのイルクーツク州において麝香鹿の育成と集荷、狩猟許可に基づき麝香鹿確保、麝香牧場に放牧・育成し麝香を集荷するビジネスモデルの構築を実施した。4、ブラジルにおける牛糞・吐根などの生薬の集荷、日本薬局方による品質管理の指導等を行っている。5、三重県における薬用植物栽培事業について専門家として委嘱を受けて活動している。6、各市町村からの問い合わせをいただき丁寧に薬用植物栽培の相談を受けております。7、薬用植物栽培から事業化移行に伴う医薬品製造業、医薬品製造販売業の許可取得・承認申請・GQP・GMPの指導を行っている。</p>
金丸 弘美	かなまる ひろみ	(有)万来社	<p>2000年から、食の地域づくりの取材活動、食のワークショップの展開、出版活動の連携を行い、運動と行動、実地活動と出版とプロモーションのコラボレーションを行っている。とくに食からの地域づくりと食育に関しては、さまざまな視点からの実践活動と本作りを試みている。</p>
唐橋 宏	からはし ひろし	(有)會津きり屋	<p>1991年に会津地方の幅広い関係者の参加による「会津そばトピア会議」を設立し、「日本一のそばの郷づくり」を合言葉に多彩な活動を展開することによって、会津そばの地域での広がりや全国的なブランド化に努める。また、そばの栽培面積も飛躍的に拡大するとともに、そばを核とした観光事業や地域間交流事業を積極的に展開。1985年全国のそば振興ネットワーク「全国麺類文化地域間交流推進協議会(全麺協)」を発足、以後日本そば博覧会を各地で開催指導、同時に全国各地でそばによる地域づくりの指導を実施、また、素人そば打ち段位認定制度の全国認定審査員として各認定大会で審査員を務め、段位認定者は1万人を超えるまでになる。全国各地の「そばによる地域活性化」の指導を実施中</p>
河合 克仁	かわい かつひと	株式会社アクティビスタ / 国立大学法人筑波大学	<p>・各地域の魅力の再定義×その地域だからこそできるソフト/ハードの整理とPR</p> <p>・その地域の企業を巻き込んだU/Tターン採用と若者育成支援</p> <p>実績(2015年7月～):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地方の中小企業の魅力の言語化・見える化を行ったUターン/Tターン採用支援(北海道、青森、福島、長野、愛知、千葉等)</li> <li>■産学連携の人材育成と人材採用支援</li> <li>■筑波大学にて地元企業への就業体験を含んだキャリアデザイン教育の授業を実施</li> <li>■10年後の未来を描くビジョン策定支援</li> <li>■中小ベンチャー企業の理念・ビジョン策定</li> <li>■大企業×ベンチャー企業×異業種×異年齢のカンファレンスの開催</li> </ul> <p>参加企業数述べ200社以上、実施回数10回、参加企業の売上総和3兆円以上、従業員総数3万人以上(直近1年間)の経営者会議開催</p>
河崎 妙子	かわさき たえこ	(有)河崎妙子事務所	<p>有限会社 河崎妙子事務所はコンセプト作り、店舗レイアウト、メニュー開発、スタッフ教育、広報活動など、1店舗を立ち上げるためのノウハウを提供。特に女性の立場から見た店舗のプロデュースやメニュー開発を得意としています。主な活動範囲は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「食」に関すること→食材研究、商品開発、人材教育、料理講習会の実施等</li> <li>②「観光・交流」に関すること→コンセプトに合わせた商品開発、店舗の立ち上げ等</li> <li>③「学び」に関すること→食材研究、ワイン、チーズ、スパイス等の使い方や知識についての勉強会を実施、薬膳料理の勉強会等、各地の食材を生かした幅広い講習会を実施</li> </ol>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
菅家 洋一	かんげ よういち	会津土建株式会社	<p>◎平成22年: 地元、会津のシンボル鶴ヶ城周辺の活性化の一環として、「アドリア北出丸カフェ」をオープンした。国内初のCLT工法を駆使し、自然との調和、省エネ、環境に最大限配慮し、癒しのカフェとして市民・観光客の憩いの場となっている。(平成24年会津若松市景観賞、平成25年福島県建築文化賞特別賞受賞)</p> <p>◎平成25年: 福島県森林土木建設業協会の発起人となり、協会設立、会長就任。県内168社の会員とともに、県内森林土木事業の活性化、木材の新たな活用(CLT)の普及に取り組んでいる。また、地域資源を活用した「循環型社会の形成」に力を入れている。</p> <p>◎平成26年: 林野庁「森林整備加速化・林業再生基金事業」に採用され、東日本初のCLTを活用した共同住宅を建設中(福島県CLT推進協議会管理事業者)。構造見学会、シンポジウム等を開催し、CLT普及に努める。</p> <p>◎復興庁「『新しい東北』先導モデル事業」において、CLTを活用したエネマネハウスを建設し、芝浦工大と共同で、省エネ(温熱)環境の計測を行い、将来スマートタウン構想実現を目指している。</p>
菊池 新一	きくち しんいち	特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク	<p>遠野のグリーン・ツーリズム研究会の立ち上げから、今日までグリーンツーリズムの振興に関わる。ふるさと公社では、道の駅「遠野風の丘」の立ち上げ、コミュニティビジネスの振興に関わる。商工観光課では、コミュニティビジネスを取り入れた、ショッピングセンターの再生に関わる。現在、震災の被災地や東北各地においてソーシャルビジネスの立ち上げをキーワードに、農家民宿、農家レストラン、産地直売所、農産物の加工など、六次産業化や農商工連携の起業支援を行っている。</p> <p>また、グリーンツーリズムの実践、着地型旅行業への参入などを行っている。</p>
北野 尚人	きたの ひさと	広島経済 大学経済学部 メディアビジネス学科/ 株式会社 中国四国博報堂	<p>・「地域絆と東京鮮度」をモットーに、マーケティングやコミュニケーションの知識・ノウハウを活かし、地方都市ならではの情報や時間面での真の豊かさの実現支援に向けて活動中。</p> <p>・今街中で起こっていることが分かれば、すぐに駆けつけられるサイズのコンパクトシティだからこそできること、ワークライフバランスの良さをどう生かすかを模索中。</p> <p>・博報堂のブランディング・ノウハウを活用した「地ブランド構築」支援活動も展開中。特に、最近では、農産物や水産物のブランド化、地方都市のブランド化、地方ならではの「食」のブランド化、等に関してもチャレンジ中。</p> <p>・「瀬戸内海」と「中国山地」「山陰地域」の魅力の棚卸しを、辛口の他所者視点に立って推進中。</p> <p>・大学へ移ってからは、マーケティング、コミュニケーション、メディア、広告、広報、ブランディング等を研究。</p> <p>・学生に対しては、従来の常識にとらわれない柔軟な発想で、物事を見つめ考えることを指導。</p>
北村 省一	きたむら しょういち	株式会社 サイトック	<p>【地域づくり(人材育成・産業振興)】</p> <p>・80年代後半、経済成長が鈍化する中、地域振興(人材育成、産業振興)等の観点から公立等の大学づくりが熱心に行われてきました。福岡県、広島市、神戸市、滋賀県、兵庫県、和歌山県などで大学整備に向けた企画提案、構想づくりのお手伝いして参りました。中でも、広島市立大学や滋賀県立大学が設立され、地域に根差す先進的な大学となっています。</p> <p>【自然資源調査】</p> <p>各地の河川整備に伴う自然環境調査、福岡の那珂川、和歌山の日置川(河川水辺の国勢調査)などでは魚介類調査を行い、地域資源とその活用環境について明らかにし保全と創造の方向を提案しました。平成24年には高浜町の産業振興のため、青葉山の植物調査を行い、有用植物の選出を行い、植物資源を活用した事業提案をしました。</p> <p>【地域産業支援】</p> <p>・情報社会における企業のファインダビリティ(見つけてもらうこと)をテーマに、企業活動の存在を知ってもらう基盤づくり(Smart-PR等)、集客事業戦略を中心に取組んでいます。具体的には、チラシづくり等を提案し、売上げ直結の支援を目指しています。</p>



氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
木下 斉	きのした ひとし	一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス	<p>地域の中心的なチームを組織して新たな事業を創り、その事業経営を通じて地域の抱える経済的・社会的課題を解決するのが、私のスタンスです。</p> <p>・1998年、早稲田商店会における環境を切り口とした商店街活性化に参画。「エコステーション」の運営を通じて、1999年より全国リサイクル商店街サミットを開催(現在までに全国で13回開催)。さらにネットを活用した情報共有を行い、2000年度新語流行語大賞「IT革命」受賞。</p> <p>・2008年には熊本市内における不動産価値の向上を目指し、熊本城東マネジメント株式会社を設立。不動産・店舗経営にかかる契約を一本化にすることでコスト削減と業務品質改善、まちづくり基金の創出する、エリア・ファシリティ・マネジメント事業を立ち上げる。現在、北海道から九州まで全国各地で同様の事業を立ち上げている。</p> <p>・2009年には全国各地の事業型まち会社とそれを共同で推進する民間企業や専門家によるアライアンス団体、一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立。現在11都市のまち会社が加盟し、共同で事業開発を推進している。</p> <p>・2011年からは、エリア・イノベーション・アライアンスにおいて、新たな事業開発プログラムである「エリア・イノベーターズ・フートキャンプ」を定期開催。全国から参加者が集まり、事業開発に取り組み、成果を挙げている。さらに、インターネットを活用した事業プログラム販売などのプラットフォーム開発にも着手、まち会社が物理的な制約を越えられるよう、オンラインでの事業開発・経営推進を図っている。・2013年には公民連携事業を推進した実績から、地域活性化伝道師を務めるアフターヌーンサエティの清水氏、CRA合同会社の岡崎氏と共に一般社団法人公民連携事業機構を設立し理事を務める。同社では2015年より東北芸工大と提携し、公民連携プロフェッショナルスクールを開校し、自治体、民間横断での全国的な公民連携事業家の育成に当たる。</p> <p>・2014年からはeラーニングを活用したノウハウ提供などについても積極的に進めており、ITを活用した現場から現場への情報移転のプラットフォーム整備を自前開発運営している。</p>
木村 乃	きむら だい	ビズデザイン株式会社/明治大学商学部	<p>経済団体や自治体、NPO・NGO、大学の皆さんに対して、地域活性化プロジェクトの立案コンサルティングのほか、現場コーディネート、人材育成を実践します。</p> <p>担当したコンサルティング、コーディネート業務、研修講師業務のほとんどでリピートオーダーをいただいています。</p> <p>これは、企業経営(産)、行政職員(官)、大学教員(学)の3つの職歴をもつ稀有の経験を生かした実践的なコンサルティングが支持されているものと自負しています。</p> <p>その他、基礎的なアンケート調査等の業務支援(設計、集計、レポート)も行っています。</p>
木本 圭一	きもと けいいち	関西学院大学国際学部	<p>&lt;地域における活性化プロジェクト&gt;</p> <p>2004年(平成16年)9月 文部科学省現代的教育ニーズ支援プログラム(地域活性化への貢献) 関西学院大学申請プログラム(学生による「劇場空間・宝塚」の都市再生)推進責任者(2007年3月まで)。地域の活性化を産官学連携で行う取組。授業責任者として平成26年3月まで担当。</p> <p>2014年(平成26年)6月 兵庫県南県民センター 大学生による都市型ツーリズム推進事業によって、「関西学院大学・日本酒振興プロジェクト」を西宮郷の酒造メーカーと連携して推進。</p> <p>&lt;産官学連携による人材育成プロジェクト&gt;</p> <p>2007年(平成19年)8月 文部科学省社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム、関西同立共同申請プログラム「団塊世代が活躍するための地域貢献型社会起業家養成プログラム」の申請代表者・事業担当者(2010年3月まで)。</p> <p>2008年(平成20年)10月 経済産業省「産学連携人材育成事業(産学人材育成パートナーシップ「経営・管理人材分科会」プログラム開発・実証)、関西社会人大学院連合申請プログラム「国際競争を勝ち抜く次世代経営リーダー養成プログラムーアジア現地経営トップ養成ー」プログラムコーディネータ(2011年3月まで)。</p> <p>2011年(平成23年)11月 大阪市からアジアビジネス研究センターへの委託事業“大学・大学院ネットワークを活用した人材育成力強化事業”プログラムコーディネータ(2014年3月まで)。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
久野 美和子	くの みわこ	電気通信大学	グローバル経済・産業・社会の中で、日本や地域、個別の企業が生き残り、勝ち残っていくためには、大学や研究機関の優れた研究・技術成果を社会的価値に繋げていくことが極めて重要である。また、その方法としては、単独ではなく、多様な知識をもった人材や組織との連携・融合が不可欠の時代となっている。このため、プロデューサーの経験・ノウハウを活かし、1. 埼玉・千葉・茨城・群馬地域～東京(広域)の各大学や研究機関、支援機関と連携して、産学による共同研究開発～新事業創出のしくみづくり、個別支援を行っている。2. 特に超高齢化社会に突入している現在、ライフイノベーション(健康・医療・福祉・介護、食・農等)分野の共同研究～新商品開発・新事業創出が急務であり、重点的な取り組みを行っている。3. 日本の科学・技術の中心である「つくば地域」で、「科学・技術産業イニシアティブ」(グローバル・オープンイノベーション・プラットホームづくりを目指す、科学・技術、産業分野の有志の会)を立ち上げ、様々な分野の専門家によるセミナーやプロジェクトメイキング活動等を実施中。4. NP法人「イノベーション・ネットワーク」を有志で立ち上げ、若い・科学人材育成、「健康・食」の拠点作り等に注力。5. 地域活性化伝道師としても、1. ～3. に関わり、地域や個別企業からの相談に応じてプロデュース活動を行っている。
久保 智	くぼ さとし	プロジェクト熊野	熊野市役所在職中は、地域資源を活用した特産品開発として「さんま醤油(魚醤)」や「どぶろく」など新たな特産品の開発に関わる外、直販や異業種連携、ローカルネットを活用した地域産品の新たな販路を開拓してきた。また、漁業の再活性化を図るため、安全安心の水産物生産や販路開拓についてハード・ソフト両面から取り組みを行った。個人の取り組みとしては、女性・中高齢者を社会資源と捉えたコミュニティビジネスの振興に関わる外、園芸による社会弱者の社会参加を支援する「くまの園芸福祉倶楽部」に参加してきた。1998年からは都市と大学と村とをネットワーク(村都連携・村学連携)する「プロジェクトくまの」の現地世話人として活動している。
小出 宗昭	こいで むねあき	富士市産業支援センターf-Biz(エフビズ)	公的産業支援施設で地域の中小企業・商店経営者、起業家などがビジネス上の課題を解決していく支援を提供することで、地域経済の活性化を目指しています。私の仕事は基本的にいわゆる「ビジネスコンサルティング」ですが、相談者と一緒の目線に立って考え、事業の成功を目指して戦略と戦術を共に練り、結果が出るまでチャレンジすることをモットーとしています。製造、小売、サービス、農水産業など、相談者の業種は問いません。前向きに取り組む事業者を地域から一人でも多く輩出することによって、まさに仕事がまわる仕組みをつくり、地域経済全体の活性化実現につなげたいと考えています。
古川 充	こがわ みつる	古川行政書士事務所/地域経営コンサル 合同会社なるさ	・神奈川県庁から人口2000人の小さな若田村役場に転職する。 1996年から宿泊、温泉などを備えた道の駅整備による村づくりを担当し、15年間事業の責任者を担う。住民240人の第3セクター経営により、年間利用者25万人の地域振興の拠点施設として持続経営の展開の基盤づくりを行なう。経営に従事する中で、収益の一部を村役場に5億3千5百万円の寄付を行なう。これを、村は、将来の施設修繕に充てる基金化する。 事務局や責任者として仕掛け続けた、組織、集落が下記を選奨 ・2000年 地域住民が連携した農村振興が認められ「豊かな村づくり賞農林水産大臣賞」 ・2004年 道の駅を核とした地域振興が認められ「立ち上がる農山漁村」に選定 ・2016年 中山間直接支払活動が評価され「中四国農政局長表彰最優秀賞」 ・地域振興組織が持続可能な取り組み方策の選択として、組織の法人化、組織運営の指導 ・第3セクター経営の改善支援 ・2004年 「地域産業担い手たち・地域ビジネスリーダー」(経済産業省中四国経済産業
後藤 健市	ごとう けんいち	合同会社 場所文化機構	「場所文化」をキーワードに具体的な場の設定に関わり、地元の十勝・帯広では、北の屋台(2001)、スノーフィールドカフェ(2002)、東京では、場所文化フォーラム(2002)、とかちの…(2007)、にっぽんの…(2010)の立ち上げと運営に携わってきた。さらに、まちづくりのさまざまなアイデア実現のために会社・団体を複数設立し、場所の価値を生かした実践活動を行っている。2008年には場所文化機構(LLP)を立ち上げ、全国各地での講演や、地域の元気人材を巻き込んだ活性化事業に携わりながら、コミュニティビジネスやソーシャルビジネス創出の強化に取り組んでいる。また、2010年からアジア連携を視野に入れた事業に取り組んでいる。地域活性化事業以外として、障害理解とコンプレックスの自覚のための「アイマスクプログラム」を教育現場で行っており、また、「ポケットサイズのカラー点字器を開発し、「名刺に点字を入れる」ボランティア運動も展開している。(カラー点字プレートは98年度のグッドデザイン賞中小企業庁長官特別賞を受賞。)

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
小林 秀司	こばやし ひでし	株式会社シェアードバリュー・コーポレーション	<p>全国都道府県に出かけて人を大切にする「いい会社」の視察や調査、発掘をしています。これまで企業訪問した数は558回(2017年1月20日現在)。年間70社近くの訪問活動を続けています。企業調査・発掘、研究成果啓蒙講演、企業での研修・コンサルティングが主業務。また、経済産業局や自治体、中小企業家同友会など行政や経営者団体からご依頼を受けて講演セミナーを開催しています。</p> <p>【講演・シンポジウム・セミナー活動実践例】「人を大切にする経営」日本青年会議所愛知ブロック協議会シンポジウム・「真の企業経営とは？地域に根ざし、愛される経営」四国経済産業局・「元気な社員がいる会社のつくり方 労使で築く活き活きとした職場」栃木県小山労政事務所・「障がい者雇用が切り開く新たなフロンティア」高知県中小企業家同友会・「栃木でいちばん大切にしたい会社を目指そう！」栃木県中小企業家同友会・「島根県幹部候補向けマネジメントセミナー」島根県商工労働部など</p>
小松 裕介	こまつ ゆうすけ	株式会社スーツ	<p>観光施設の再生を通じた地域活性化にノウハウと実績を有していることから、マーケティング戦略など経営戦略の立案、広報体制の構築、オペレーションの改善、経費の削減、人材の育成やリスクマネジメント体制の構築など、幅広いスキルと経験を地域活性化の現場に活かします。</p> <p>また、公共施設老朽化対策における公民連携分野でのアドバイス経験を有していることから、より多くの人々を「巻き込んだ」仕事の進め方に慣れており、様々なステークホルダーをまとめるリーダーシップとコミュニケーションのノウハウを地域活性化の現場に活かします。</p> <p>具体的には、全国各地の地域振興や観光振興などの課題・問題点に対するアドバイス、コンサルティング、実際の計画立案支援や実行支援などを行います。</p> <p>また、「観光施設の再生」、「企業再生と地方創生」や「経営改革とリーダーシップ」などに関する講演も行います。</p>
斉藤 俊幸	さいとう としゆき	イング総合計画株式会社	<p>2003年関東学院大学まちなか研究室追浜こみゆに亭開設に参加(2003年)、有明高専現代GP事業推進(文部科学省2005年)、全国水産高校生徒研究発表大会四国大会で高知海洋高校うめプロジェクト優勝支援(2009年)、国際教養大学生による高校生向け英語宿泊開催(秋田県由利本荘市、総務省地域力創造アドバイザー事業2010年)、千葉県立松尾高校スーパーグローバルハイスクール「地域から考えるグローバル・エイジング研究」(文部科学省2015年)、大阪府立能勢高校スーパーグローバルハイスクール「国際協力の現場で判断力と実践力を培うグローバル人材研究」(文部科学省2015年)、地域活性化センター土日集中セミナー「魅力化による高校の生き残り」と地域活性化」主任講師</p>
坂本 世津夫	さかもと せつお	愛媛大学 社会連携推進機構	<p>H14年4月からH17年3月まで、愛媛大学にて「地域情報学」(伊予銀行寄附部門)を担当する。H17年4月からH23年3月まで、高知大学国際・地域連携センター教授(生涯学習部門長)。平成26年10月より、愛媛大学社会連携推進機構教授として、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」、「地域の未来をステークホルダーと共に創る実践的人材の育成」に取り組んでいる(愛媛県南予地域担当の、地域連携コーディネーター)。その他、日本の情報化を、地域という視点で見直し、地域における「知的能力」と「コミュニケーション能力」を高めることにより、新たな産業集積や地域の活性化(地域の自立)が実現できないか、研究・実践している。</p> <p>APPLIC(一般財団法人 全国地域情報化推進協会)の「ICT地域イノベーション委員会」でアドバイザーを務めている他、四国のICT利活用促進、ICT地域イノベーション、ICT人材育成に取り組んでいる。</p> <p>平成15年9月、「地域産業おこしに燃える人」(内閣官房・経済産業省)に選定される(小泉総理より、首相官邸にて)。平成19年3月、内閣官房より「地域活性化伝道師」にも選定される。地域情報化アドバイザー(総務省委嘱)、四国情報通信懇談会、日本テレワーク協会(アドバイザー)、ICT地域マネージャー(総務省委嘱)、現代龍馬学会他</p>
櫻井 亨	さくらい とおる	公益財団法人川崎市産業振興財団	<p>顔の見えるネットワークづくりを基本に企業、大学などの訪問活動を行っています。延べ2000社以上の企業を訪問し、経営者と面談するとともに、900人を超える大学研究者、リエゾン担当職員等との面談を通じて、相談や新事業の発掘を行っています。また、メディアの協力をいただき、記事掲載支援をしています。産学連携の取り組みとして、中小企業の技術、ノウハウを活用して大学の研究機器試作、研究成果の具現化を目指し、「産学連携・試作開発促進プロジェクト」を通じて、中小企業の新製品開発や、大手企業の知的財産を中小企業が活用するなど「川崎モデル」の取組を推進しています。最近では、ナノ医療を中心とした医工連携、地域中小企業との連携を推進しています。</p>
定藤 繁樹	さだとう しげき	関西学院大学	<p>2003年度 都市再生モデル調査を実施。2004年度 宝塚市と大学によるまちづくり包括協定締結。文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(「現代GP」)に採択。2005年度 地域フィールドワークとしての取組、各種の社会実験(オープンカフェ、フリーマーケット、光の散歩道など)を実施。2006年度 地元大学との学学連携による各種取組。2007年度 地域フィールドワークとして商業イノベーション、映像プロジェクト、コミュニティ醸成などの取組。2008年度 逆瀬川地区の商店街活性化、巡回バス運行によるイベント活性化、フェアトレードなどの取組、「社会人基礎力グランプリ」準大賞を受賞。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
佐藤 靖也	さとう やすなり	一般社団法人 木質ペレット推進協議会 / 株式会社WPPC	木質ペレットの普及活動及び事業化の経験を生かし、地域に賦存する木質の未利用資源(間伐材等の森林資源や製材所等の木屑等)を木質ペレットに加工し再生可能エネルギーとして地域内に地産地消としてエネルギー循環させることで化石燃料の使用を食い止め、地域外(海外)にお金を流出させず、地域内にお金を留まらせる(循環させる)ことにより、地域の経済活性、雇用創出、しいては環境保全に繋げる仕組みづくりを社会事業としてビジネス化し継続させることを目的とした活動を行っている。
澤崎 聡	さわさき さとし	澤崎聡事務所	地域をブランド化の視点から、実体づくりと具体的な事業展開で活性化。行政・公共団体をはじめ地域企業のブランド戦略、デザイン・ナレッジによる産業推進、農水の地域を巻き込んだプレミアムブランド化戦略など、地域特性を生かした連携やゼロミッションなど発想の転換で取り組んでいます。歴史、まつり、食、文化などの掘り起こしをおこない農商工・観光・新産業を新規開発。「地域ブランドから地域がブランドへ」地域のもつマインドを大切に、アートとデザイン、文化発想でのオンリーワンの地域づくり、人づくり、ものづくりをブランド化事業で展開。未来の主演、子どものための企画推進を実施。文楽世界遺産やロボカップ世界大会事業、グローバル時代の地域の日本食開発・発信、観光開発、中小企業のモノづくりまで、日本発クールジャパン、そして次の日本への視点で事業を実施。
四宮 博	しのみや ひろし	洞爺湖温泉利用協同組合	平成17年静岡県伊豆の国市伊豆長岡温泉の温泉供給施設の老朽化に伴い、温泉集中管理施設整備事業の設計管理に関わり温泉資源の見える化による資源保護と省エネ型供給施設の構築を実施した。また平成22年鳥取県米子市皆生温泉の温泉供給施設の一步進んだ集中管理施設整備のプランニング設計を構築。平成23年長野県安曇野市穂高温泉 西穂高地区の温泉供給施設のエネルギー利用効率向上の技術指導を行った。 平成25年岩手県盛岡市繋温泉が集中豪雨により温泉供給施設に被害を受け、復旧計画書を作成及び復旧事業支援を行う。
柴田 義文	しばた よしふみ	静岡技術移転合同会社	浜松商工会議所副会頭をはじめ、協同組合テクノランド細江(工業団地)理事長、遠州生産性協議会副会長など地域の経済活動に積極的に関わってきました。平成13年度からは経済産業省の産業クラスター計画に位置付けられた三遠南信パイライゼーション協議会の会長として、地域における産学官連携を先導し、また地域と国(経済産業省)とのパイプ役としてもものづくり中小企業を中心に支援してきました。平成14年度からは浜松地域における知的クラスター創成事業の第1期事業統括として、静岡大学の光技術と浜松医科大学の光子医学に関する研究実績をもとに、高機能集積CMOSイメージセンサ、高エネルギー線イメージセンサや新しい医療診断等に活用できる高度医療システム(顕微鏡、高機能内視鏡、遠隔診断等)の研究開発を進めてきました。 平成21年からは、静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡理科大学、沼津高専、国立遺伝学研究所などの研究機関と静岡県、浜松市、静岡市の総意で新たに設立された技術移転組織、静岡TTOの代表社員を務めています。知的クラスター創成事業などの産学官連携の成果として大学等が持つ技術シーズを有効活用することに取り組んでいます。 医工連携、農商工連携、地域の新産業創出のための支援機関の連携強化やそのための仕組みづくりにも取り組んでいます。
島谷 留美子	しまたに るみこ	(株)東北地域環境研究室	各地の観光調査、道の駅など地域の交流拠点施設等の企画、計画づくりに係り、これまで岩手県平泉町の世界遺産登録に向けた観光まちづくり調査、宮城県大崎市、石巻市、秋田県横手市の道の駅建設事業、青森県東通村などの観光調査、農水産物直売所等建設計画等に係る。平成23年度には、東北7県(新潟県を含む)の農山村の女性起業家の動向を調査し、起業をめざしたきっかけ、困難にぶつかったときにどう乗り越えたのか、事業を継続する上でのポイント、これからの目標等についてインタビューを行ってまとめた。
清水 義次	しみず よしつぐ	株式会社アフタヌーンソサエティ	まちの土台は人と不動産にあります。まちづくりを、従来の商業者主体のまちづくりから、エリア内の不動産オーナーと家守(やもり)が連携した、市民主知の活動と捉えてみてはどうでしょうか。しっかりした不動産オーナーの方々連携すると継続するまちづくり活動が出来て、まちの価値が上昇します。この当たり前のことが極めて重要で、現代版家守の活動は、2003年に千代田区の神田から始まりました。衰退エリアの不動産を活用し新しい動きを創り出すプロデューサー役として、家守はまちづくりとFMの接点領域の活動を日本全国で展開中です。まちに住む人たち、行政マン、大学の方々みんなが力を合わせて楽しく元気に家守事業を興して、次の時代に繋がる“生きたまち”にしていきたいと思っています。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
志村 尚一	しむら しょういち	有限会社ウィルビー/株式会社源喜舎/劇団ぜんとうようくらぶ	<p>「一人一人のキラめきが輝く未来をつくりだす」をモットーに、資源の発掘と活用の仕方、住民一人一人が人材(役に立つ人)となれるような人材育成を、地域に密着して指導・アドバイスを行っている。これまで指導した地域の方々からは、「自分達が気づいてなかった地域の可能性に気づかされ、実践方法も具体的にアドバイスしてくれるので、確実に成果が上がる」との声をいただいている。</p> <p>現在、岩手県西和賀町の第三セクターゼネラルマネージャーに就任し6年目だが、人材育成と、所得と雇用の確保を目的に、6次産業と相乗効果を生み出す協働という手段を用いながら、地元の資源を生かした産業振興を推し進めている。</p> <p>平成23年から、三陸の震災被災地で地域コミュニティ再生・復興のための支援活動(延500回)を行っている。</p> <p>そのほかにも、全国各地で「6次産業化」「農林水産業」「教育」「福祉」「人材育成」など幅広いテーマで、年間100回以上の講演・研修を行っている。</p> <p>また、自身が主宰する劇団『ぜんとうようくらぶ』は、「介護保険」「食農教育」「協働によるまちづくり」などを題材にした演劇を全国各地で多数上演。他にも、「市民憲章運動推進全国大会」「全国農業青年交換大会」「農山漁村女性の日記念の集い」などで、記念講演や演劇公演を行う。</p> <p>平成25年から、岩手の銘柄豚「白金豚」の生産農場と連携する居酒屋『源喜舎』の経営を行い、県内の生産者と消費者をつなぐ6次産業化のモデルとして各方面から注目されている。</p> <p>平成29年からは、各地域や行政などの依頼を受けて、住民の意識改革・行動改革を目的とした、介護予防や地域包括ケアシステムの講演・研修も行う。</p> <p>※平成28年の取組概要は別紙参照</p>
鈴木 邦治	すずき くにはる	一般社団法人 頑張る地域支援し隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イノベーション創出による地域活性化及び人材育成、まちづくり</li> <li>・自治体の広域連携による情報通信を用いた教育、介護、農業等の推進</li> <li>・新エネ省エネによる新産業の創出</li> <li>・地域資源を活用した6次産業の開拓</li> <li>・防災、減災を踏まえたまちづくり(スマートコミュニティ)</li> <li>・道の駅やインキュベーション施設などの活性化</li> <li>・企業誘致・公募事業による実証実験や研究ほか</li> </ul>
関 幸子	せき さちこ	株式会社ローカルファースト研究所	<p>1997年よりSOHO CITY みたか構想、中心市街地活性化事業に取り組み、株式会社まちづくり三鷹を設立、三鷹産業プラザの建設、三鷹電子商店街、三鷹子育てねっと、三鷹光ワークスなどのプロジェクト、2002年～2005年 経済産業省の地域新生コンソーシアム事業にて高解像度医療用顕微鏡開発事業</p> <p>2007年12月秋葉原タウンマネージメント株式会社設立: 広告事業などエリアマネジメント事業、2009年4月 財団法人まちみらい千代田 専門調査員就任: 「市町村サテライトオフィス東京」</p> <p>2010年10月株式会社ローカルファースト研究所設立。全国の人口減少し過疎化する地域の活性化と地域産業の振興に取り組む</p> <p>2011年9月 震災復興ワークス設立 東日本大震災で大きな被害を受けた自治体支援</p> <p>2014年より、地域活性化に関する関係関係会合 地域プラットフォームワーキングチームメンバー就任し、地域再生計画モデル地区の評価を実施</p> <p>2015年3月より東洋大学にて地方創生推進に向けた人材育成塾を開催</p>
早田 吉伸	そうだ よしのぶ	特定非営利活動法人 カット・ジェービー(Cut-jp)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「システムデザイン」「情報アーキテクティング」の考え方をベースに、様々な社会課題を解決するためのコンセプトワーク及びその実現のための事業プロデュースを多様なフィールドを通じて実践しています。</li> <li>・中長期的なランドデザインを描くことから、現場における「何をやったらいいかわからない」という状況の打破まで、マクロ・ミクロの課題を各ステークホルダーの方々と一緒に考え、試行し、解決に導くことをモットーにしています。</li> <li>・特にIT(情報技術)の領域においては、「利活用」「公共サービス」の視点からコンサルティングを実施し、地域活性化に向けた課題解決につなげていきます。</li> </ul>
曾根原 久司	そねはら ひさし	NPO法人えがおつなげて	<p>限界集落になってしまった農村地域の耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、企業ファームという手法で、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいます。また現在は、今までの活動実績を踏まえ、山梨のみならず、北海道、三重、滋賀、広島など、全国の農村地域の活性化の支援や人材育成の活動を行っています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
高木 治夫	たかぎ はるお	京都フラワーツーリズム合同会社	<p>●世界のカメラ愛好家が「京都の魅力」を発信！                      背景：京都の花街は右肩下がり。                      目的：花街文化の魅力を世界に発信し花街のファンを増やす。                      具体的内容：『世界のカメラ愛好家』が自ら費用負担をおこないファンになり京都の魅力発信に貢献。                      成果：シェアリングエコノミー時代の「三方よし」のビジネスモデルを構築した。この結果、持続発展や他地域への展開が可能となった。</p> <p>1)カメラ愛好家にとって：                      ①撮影機会の提供、                      ②作品発表の舞台を提供                      舞妓さん自身が写真をチェックし肖像権をクリアオープンデータとして作品を世界へ公開</p> <p>2)花街にとって：花街文化を世界へ発信                      舞妓さん応援ファンの拡大</p> <p>3)撮影会場にとって：会場の魅力を世界へ発信</p> <p>一眼レフを持つハイアマチュアの知恵やエネルギーを、心地よく楽しく、花街発展のために貢献してもらう仕組みを実現できた！</p> <p>●オープンデータを活用できるシェアリングエコノミー時代のCMS「OpenMatome」(CMSの大革命)                      1)CMSの大革命                      情報発信力を高めるために「記事作成」の生産性を革命的に高める。                      スマホ時代になりながらCMSは依然として古いまま。                      そもその概念をスマホやシェアリングエコノミーから組み立てた新しいCMS。</p> <p>2)記事のシェアリング                      お互いに記事をシェアして、それぞれのHPから発信。                      記事作成の効率化と情報の拡散を実現。</p> <p>3)コンテンツ(個人の体験情報など)の発信力を高める                      記事が多くHPで活用され、記事作成のモチベーションを高める。</p>
高島 利尚	たかしま としなお	TMI	<p>「中小機構関東本部 経営支援部」にて、地域資源活用プログラム、農商工連携の案件掘り起しから、認定申請書作成、認定後のフォローアップに至る一連の活動の支援およびそのマネジメントを行ってきた。                      同時に、商工会議所、商工会、中央会、都県の支援センター、金融機関等の支援機関に対して、地域資源活用プログラム、農商工連携の制度普及に向けての諸活動をしている。                      中小企業大学校等にて、地域活性化に関するセミナー、講演等も行っている。                      現在、神奈川県寒川町にて、地域の産業振興支援を行っている。                      その他                      ITを活用しての地域活性化に向けての活動支援も行っている。</p>
高津 定弘	たかつ さだひろ	高千穂大学	<p>国土計画、経済計画、地域開発、地域政策、経済政策など</p>
高橋 和勸	たかはし かずゆき	NPO法人 ワップフィルム	<p>映画という手法により「映画による地域力創生事業」、「地域コミュニティの連携」を提案。「映画」は多様な人々が関わるコトづくり、モノづくりであり地域映画は歴史文化、埋もれている地域資源(観光・産業・人・モノ・技術など全て含め)を掘り起こす、まちづくりと考えます。従来の商業ベースの映画製作では莫大な予算、制作意図も異なります。全て0ベースからの新しい地域映画製作を通じ、産業振興、基層文化の見直し、新たな創造価値を創出、地域の強みを発信し合うことで中小地域間連携、地域活性化に繋がります。</p> <p>I. 映画製作によるオープンイノベーション                      ・地域と人と組織を繋げて活性化。                      ・地域資源を活かし新たな視点で組合せることでイノベーションを生み出す。                      ・映像作品活用の普及/指導(地域のPR映像など)</p> <p>II. 地域映画×上映フューチャーセッションのパッケージ化                      ・まちを自分たちの手で変えていく、多様な参加者による対話の提供。                      ・日本各地の自分たちのまちの未来へ置き換えて考え、対話、共創の中から協調アクションへの場づくりの提供。</p> <p>III. キネマフューチャーセンタープロジェクトの推進                      ・商店街空き家、空き店舗問題、交通問題の解決。                      ・コミュニティカフェ/コワーキングスペース/フューチャーセンター/まち中映画館として運営。                      ・未来創造のための人事育成、産官学、地域(農工商)連携及び産業創出の場づくりの提案。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
高本 壮	たかもと そう	(株)白鳳堂	<p>○筆の生産販売</p> <p>○筆は道具なりというスローガンの下、妥協しないモノ作り、良質の材料を安定して入手し、鍛えられた従業員が生産にあたり、その商品が消費者に受け入れられ満足する、仕組み作りと、人材教育。また、国内のみならず、海外にも進出。</p> <p>○ものづくりの文化雑誌『ふでばこ』の発行</p>
滝澤 恵一	たきざわ けいいち	中小企業診断士滝澤恵一事務所／(一社)長野県中小企業診断協会／NPO法人地域づくりクラブ	<p>「自分を生きる、ともに生きる」をメインテーマに、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、農商工連携、商店街や観光業者と農林漁業者の連携の支援。「暮らす、働く、生きる」「ゆらぎをつくる」「地域コミュニティ、ライフスタイルコミュニティ、ビジネススタイルコミュニティによりコミュニティを創る」「コミュニティとはともに生きていくと実感できる場であり、場とは時間と空間である」「地域の絶対的個性は歴史と文化であり、これを見つけ、活かし、育てつなげるのは人であり、人的文化である」などの視点から、現場でワークをし、「感じ、考え、動くこと」を伝えている。また、「地域づくりは経営である」「経営とは、心と頭脳、身体を持った人の行為である」という視点で支援を続けている。</p>
竹田 純一	たけだ じゅんいち	東京農業大学／農山村支援センター	<p>社会的協働による山村再生対策構築事業「山村再生支援センター」(林野庁)</p> <p>里地里山保全方策の検討とモデル地域づくり(環境省)</p> <p>トキの野生復帰をめざした共生と循環の地域社会づくり(環境省、新潟県)</p> <p>人と自然が織りなす里地環境づくり(農水省、環境省)</p> <p>アベサンショウウオの保全と地域社会づくり(福井県庁) 神奈川県里地里山条例検討委員、里地里山づくり事業、他(神奈川県庁) 日本の里地里山30保全活用コンテスト事務局(読売新聞、環境省)</p> <p>イオン里地里山保全活動(イオン環境財団)</p> <p>この他、エコスクール、再生建築の調査、水保セミナー、市民政策提言フォーラム、かおり風景百選、星空の街あおぞらの街全国大会(環境省)</p>
田中 淳一	たなか じゅんいち	株式会社パートナーエージェント	<p>これまでの企業経営・新規事業企画・PR企画などの経験を活かして、地域の結婚環境を向上させることにより、既婚者の結婚幸福度を向上させ、結果として未婚者の結婚意欲を向上させていくといった取り組みを推進しています。</p> <p>例えば、移住定住・女性活躍の分野に於いて、農業ICTやシェアリングエコノミー等の新しいテクノロジーの導入によって地域の女性を取り巻く結婚環境を向上させ、旧来型の社会規範が根強い地域の「文化のスマート化」を推進するなど、地域の人口流出といった課題に対して様々なテクノロジーを複合的に活用する取り組みを支援しています。</p>
田中 豊	たなか ゆたか	アジアネット	<p>○農林水産物・地場産品の海外販路開拓(輸出)に関する総合的なサポート</p> <p>○地域及び農林水産業における海外展開・経済交流事業等のアドバイス</p> <p>○地域の産業・経済・物流・人材等に関する各種国際事業のアドバイスや支援活動</p> <p>○アジア各国とつながる地域戦略サポート</p>
玉田 樹	たまだ たつる	(株)ふるさと回帰総合政策研究所	<p>○「ふるさと回帰を促進する仕組み」の提案と支援</p> <p>遅々として進まない「地方創生」に対して「地方創生 逆転の一手」を出版し、国は「公助」づくりに躊躇があつてはならない、ということを書きました。地方からの声が上がることが期待します。</p> <p>○「ふるさと起業」の支援</p> <p>“東京で雇用されているより田舎で生業をつくりたい”とする人が30%に上る時代となりました。このための起業研修や起業の立ち上げの支援をしています。</p> <p>○「空き家の市場化」の支援</p> <p>“空き家が14%ある”といえども、市場に出てくるのはわずか数%にすぎません。田舎の空き家所有者の6割は大都市に住んでいるので、これに働きかけるプロジェクトを提案・支援します。</p> <p>○「“企業人”の誘致や城下町の形成」の支援</p> <p>これまでのように企業を誘致するのではなく、“企業人”を誘致する時代となりました。この方策について研究を進め、具体的な支援をしています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
玉村 雅敏	たまむら まさとし	慶應義塾大学 総合政策学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の地域戦略や地域ブランドづくり、価値共創戦略、企業のソーシャルマーケティング戦略やCSV戦略の立案、社会インパクト評価、生活価値や幸福度の評価手法開発、地域マイルージ、ミュージアムマーケティング、学校評価、政策マーケティング(青森県・東海市等)、ぶり奨学プログラム(長島町・氷見市)、スポーツによるまちづくりなどのシステム設計を手がける</li> <li>全国各地にて、実効性のある総合計画の構築や、トータルマネジメントシステムの構築、計画群の総合化など、自治体経営のシステム構築に従事</li> <li>地域の生活課題や生活価値、幸福度などを、関係者協働で調査し、その「みえる化」と「共有化」から協働・共創を促すシステム構築を支援</li> <li>公共施設のリノベーションや、ミュージアムや図書館等の文化・観光施設、企業のコミュニケーション施設の基本構想検討を支援</li> </ul>
塚本 芳昭	つかもと よしあき	一般財団法人 バイオインダストリー協会	産学連携、技術移転、ベンチャーと製薬企業等のアライアンス、クラスター形成等の地域振興に関する業務を実施しています。またバイオ分野のリーダー人材育成に関する業務にも取り組んでいます。
都築 富士男	つづき ふじお	株式会社都築経営研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑誌「農業応援隊」の発行</li> <li>●講演活動 行政、金融機関、企業、農業、各種団体など 北海道から沖縄まで全国各地で講演活動</li> <li>●地域活性化活動 顧問先と一緒に地域活性化の取組活動</li> </ul>
刀根 浩志	とね ひろし	観光ビジネス総研	<p>平成28年度事業紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県「沖縄観光課題解決プロジェクト」アドバイザー</li> <li>・京都府、兵庫県「山陰海岸ジオパークセミナー」講師</li> <li>・和歌山県市町村組合 職員研修会「わがまちツーリズム創造セミナー」講師</li> <li>・農山漁村活性化支援人材バンク「地方創生セミナー」講師</li> </ul>
長岡 力	ながおか つとむ	株式会社リンクアンドイノベーション	<p>地域と中小企業のイノベーションを目指す経営コンサルタント。</p> <p>平成27年度の主な活動実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人グローバル・ヒューマン・イノベーション協会(東京都渋谷区)、特 定非営利活動法人グローバル新世代イノベーター育成協会(東京都渋谷区)、特定非 営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク(東京都杉並区)、特定非営利活動 法 人 ピアサポートネットしづや(東京都渋谷区)が行う各種活動の支援</li> </ul> </li> <li>中小企業経済団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県商工会連合会、沼田市東部商工会(群馬県)、高崎市榛名商工会(群馬県)、 昭和村商工会(群馬県)、片品村商工会(群馬県)、群馬伊勢崎商工会(群馬県)、前 橋東部商工会(群馬県)、長野原町商工会(群馬県)、みえ熊野古道商工会(三重 県)、南あわじ市商工会(兵庫県)等が実施する事業支援</li> </ul> </li> <li>大学への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山学院大学(東京都渋谷区)、別府溝部学園短期大学(大分県別府市)、大分大 学 (大分県大分市)が実施する各種事業への企画段階からの参入支援</li> </ul> </li> <li>中小企業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり製造業等への経営戦略構築、経営革新計画、ものづくり補助金、持続化補 助金策定支援</li> </ul> </li> <li>その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>小規模事業者持続化補助金事業書審査委員、6次産業化プランナー、東京商工会 議所エキスパート、ミラサポ専門家他</li> </ul> </li> </ol>



氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
中川 玄洋	なかがわ げんよう	特定非営利活動法人学生人材バンク	<p>特定非営利活動法人学生人材バンク  (1)大学生ボランティアを継続的に農村集落へ派遣  平成14年より農山村ボランティアとして大学生を年間30地域、延べ500名/年派遣しています。その中から、大学生が地域で企画を実施したり、田んぼを作ったりしている学生プロジェクトも生まれています。</p> <p>(2)若者の移住、起業支援  大学生の派遣から、OBOGが農村に移住し農業後継者になったり、起業や新規就農を行なっております。その動きの後方支援を行なっています。最近では、地域おこし協力隊後方支援を鳥取県と、鳥取銀行と一緒に進めています。最近では、地域おこし協力隊また平成25年から「全国地域仕掛け人市」という求人イベントを実行委員会形式(事務局NPO法人ETIC.)で行っており、地方と都市をつなぐ仕掛けも行っています。</p> <p>(3)イベントボランティアのコーディネート  立ち上げ時から、鳥取県のイベントボランティアコーディネートの仕事も行って来ました。老若男女の市民参加の舞台を作る仕組みをお手伝いすることが可能です。</p> <p>(4)地域のつなぎ役、バランスをとる役割として  上記のような経験から、行政、民間、NPO、住民などの参画の場づくりやサポートを行ってきております。</p>
中澤 さかな	なかさわ さかな	道の駅/菰しーまーと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土料理遺産の活用プロジェクト(島根県隠岐の島町 2012～)</li> <li>●久礼大正町市場を中心とした漁師町の再生(高知県中土佐町 2013～)</li> <li>●道の駅整備計画基本構想策定(京都府宮津市2013～)</li> <li>●水産物直売施設の整備検討(熊本県芦北町2013～)</li> <li>●道の駅整備計画(第二期)基本構想策定(秋田県にかほ市2013～)</li> <li>●直売施設整備計画 基本構想策定(秋田県羽後町2014～)</li> <li>●直売施設整備計画 基本構想策定(宮崎県延岡市2014～)</li> <li>●水産加工 &amp; 直売施設整備計画(高知県奈半利町2014～)</li> <li>●地域食資源の開発(秋田県男鹿市2015～)</li> <li>●地域活性化拠点施設の整備計画(沖縄県うるま市2015～)</li> <li>●地域食資源を活用した観光開発(三重県尾鷲市2015～)</li> <li>●地域水産資源を活用した特産開発(長崎県長崎市2015～)ほか</li> </ul>
中村 健二	なかむら けんじ	三ヶ日町観光協会	<p>平成20年3月、関東経産局・関東農政局より「三ヶ目のブランド化による廃棄ミカンを利用したペーストの商品化」で地域産業資源活用計画に基づき第3号認定をされる。地元では、有名ブランドミカンとしてのステータスはあったにせよ、加工品が皆無であった状況を、このペーストが変革を起こして百数十の商品が世に送り出されることとなった。一方で、この事業活動の地域還元の一環として、20代から70代までの有志を募り、まちおこし勝手巡「ステキみっかび発信プロジェクト(=SM⑥Pe:スマッペ)の発起人で事務局長として活躍。地元商工会を通じて、中小企業庁の中小企業庁の平成21年度地域資源・こ(無限大)全国展開プロジェクトに「三ヶ目町日本一のみかんの里全国展開プロジェクト」として詰定を受け、町民の意識を一つにするというフォーカスから、事業の中心的役割を担う。その後、専門学校バンタン映像映画学院(東京都)とジョイントし、外から見たわが町を映像化しようと、自主製作の短編映画三部作の制作指揮の企画がスクートさせる。地域産業資源活用計画認定の5年間の事業期間が終わるのを受けて、町内の中小企業等の有志を集結させ、これまで築き上げてきた三ヶ目ブランドを新たに海外へ売り込むべく、「三ヶ目ブランド国際化推進協議会(会長職)」を立ち上げ、「農業産業化・地域活性化を実現する『Mikkabi』ブランド海外展開プロジェクト」に取り組むこととなる。このプロジェクトは、中小企業庁のJAPANブランド支援事業に採択された。2012年夏には、浜松市「みんなのはままつ創造事業」に採択されて、第二次大戦の切り札として陸軍が秘密裏にわずか2輛しか生産されなかった四式中戦車ヲトが、地元浜名湖に隠され沈められたという言い伝えから、「幻の戦車発掘プロジェクト」を立ち上げて、ソーシャルネットワーク(・cebook)を駆使して全国に発掘りレポート情報を発信している。2013年より、中南米日系農業者交流促進事業の実施委員も務める。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
ナカムラ ケンタ	なかむら けんた	株式会社シゴトヒト	<p>□生きるように働く人の求人サイト「日本仕事百貨」 ありのままの仕事を紹介する求人広告サイト。 □コミで広がっており、北海道から沖縄まで毎月100件以上の問い合わせがあり。掲載した3社のうち、2社で採用に至っている。平均応募者数は32名。 アクセス数は月間100万以上。利用者の8割は20代、30代の社会人。 転職を考えていないけれども読み物として楽しんでいる方が多い。</p> <p>□いろいろな生き方働き方を知る「しごとバー」 いろいろな方を1日バーテンダーとして招き、飲みながら気軽に話をする機会を提供。 起業や採用などの機会を創出している。</p> <p>□その他 シゴトヒト文庫ディレクター グッドデザイン賞審査員、フォーカス・イシュー・ディレクター リノベーションスクールユニットマスター シブヤ大学しごと課ディレクター 東京の真ん中に小さなまちをつくるプロジェクト「リトルトーキョー」企画・デザイン監修 どこでも気軽に映画を上映できるプロジェクト「Popcorn」</p>
中村 哲雄	なかむら てつお	一般社団法人葛巻町畜産開発公社	<p>平成24年1月22日農林水産省東北農政局主催の農山漁村の地域活性化シンポジウムのパネラー、地域活性化講演実績、北海道東川町、七飯町、宮城県北6町の議会議員、涌谷町、山形県山形市、最上町、東京目黒区めぐろシティーカレッジ。大学関係では、お茶の水女子大学生、岩手大学生8回講義。葛巻町に来町した沖縄県名護市会議員、北中城村議会議員、千葉県印旛郡議会議員、早稲田大学院生、明治大学生、日本大学生、東北学院大学生などに地域活性化について講演。平成25年は山形県最上町、宮城県涌谷町、岩手県岩泉町、奥州市、神奈川県川崎市、東京都稲城市などで地域活性化について講演。平成26年は東京都、金沢星陵大学などで講演、来日したフィリピンの農林省若手職員に地域開発と地域活性化について講演、現地指導など</p>
中山 哲郎	なかやま てつお	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構	<p>スポーツツーリズム推進組織の設立支援、スポーツイベント・合宿誘致等の計画策定・アドバイス・国内外のビジネスマッチングを行っています。2019ラグビーワールドカップ・Tokyo2020オリンピック・パラリンピック・2021ワールドマスターズゲームスを控える日本に注目する世界に、地域をアピールする機会です。メガスポーツイベントを活用するとともに、それ以降の地域スポーツの在り方を構想する契機となっています。この時機を逃さず、スポーツによる地域イノベーションを起こす必要があります。</p> <p>★最近3ヶ年のスポーツツーリズム推進事業への関わり★ 2014年 北海道「スポーツ観光人材育成事業」アドバイザー 2014年 沖縄県「スポーツコンベンション誘致戦略構築検討委員会」委員 2015年 北海道オホーツク総合振興局「スポーツ合宿ブランド化推進事業」アドバイザー 2015年 札幌市「地域スポーツコミッション調査業務」アドバイザー 2015～16年 徳島県東みよし町商工会「小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業」(経産省補助事業)アドバイザー 2016年 千葉県銚子市「スポーツタウン構想」(内閣府地方創生交付金)アドバイザー 2016年 栃木県矢板市「スポーツツーリズムアクションプラン策定事業」(内閣府地方創生交付金)アドバイザー 2016年 北海道北見市「オホーツクサイクリングブランド化推進事業」(内閣府地方創生交付金)アドバイザー 2016～2021年 関西ワールドマスターズゲームス2021組織委員会「レガシー創出委員会」アドバイザー・コミティメンバー</p>
仁枝 章	にえだ あきら	特定非営利活動法人 21世紀の真庭塾	<p>○1993年に岡山県真庭市の若手経営者を中心とした「21世紀の真庭塾」を設立し(2002年にNPO法人)、事務局長として環境と街並み再生によるまちづくりを推進。この活動の中から、2004年には真庭バイオエネルギー(株)と真庭バイオマテリアル(有)の2企業を立ち上げ、木質バイオマスのエネルギー及びマテリアル利用として地域の新事業創出に取り組んできた。</p> <p>○2010年に官民共同で設立された「真庭市バイオマスリファイナリー事業推進協議会」の事務局長に就任し、バイオマスの高付加価値利用及びトータル活用の事業化に取り組む。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
野間 英樹	のま ひでき	株式会社ロジトイ	<p>ITの浸透とともに社会の在り方が変わるという確信の上でこれまで様々な事業者の経営戦略支援から身の丈に合った仕組みづくりを軸に仕事をしてきました。</p> <p>&lt;取り組み&gt;                      1)イノベーションにつながる場づくり                      イノベーションには異なる概念のぶつかり合いが必須だが、地方では人のコミュニティが硬直化していることでイノベーションを阻害している場合が多い。                      天草でも実際に場づくりを通じ売れる新商品開発につながってきている。                      また、産学連携や提案活動など、イノベーションにつながる働きかけもしている。                      例)三文会                      東京大学を中心とする学生と起業家の交流を企図して2007年に始めた朝食会です。                      延べ400回を超える開催では毎回硬軟織り交ぜた専門的なテーマでの発表と濃厚なディスカッションが行われます。                      人員構成の多様さ、テーマの幅広さから、イノベーションの揺り籠となっており、この会の参加者を起点に各地で様々な動きが始まっています。                      その一つで、甲府市で開催されている「得々三文会」は地域で今までつながりにかかったプレーヤー同士がつながることで、地域活性化の大きな原動力になってきてます。</p> <p>2)ITネイティブ、IoTを活用した新事業支援                      情報化社会と言われているが、紙の帳票をIT化しただけのIT化がほとんどである。                      その点、今の地方ではITがある前提での新しい仕組み作りの最先端に躍り出るチャンスがある。                      ・地方の事業者は中途半端にIT化されていない                      ・IoTという言葉に代表されるように現場仕事にITが入り込めるようにITデバイスがコモディティ化した                      ・地方には都市部でない「現場」がたくさんあり、人手不足から生産性向上が待ったなしである                      私自身は幼少期からPCを活用しており、IT業界とのつながりも強く、実現性・採算性のある提案ができる。                      天草IoTインシアティブを立ち上げ、現場とITをつなぎ始めている。</p> <p>3)個別企業のハンズオン支援                      地方では急激に人手不足が生じてきてます。これからはリードしていく若手経営者はプレイングディレクターであることが多く、経営だけに集中できません。                      そういった方々の経営を加速させるため、経営パートナーとして経営力アップと同時に経営者へのスキル移転をしている。</p> <p>&lt;私からの提案&gt;                      日本の地方が元気になるために、お手伝いできることは精一杯させていただきます。                      1)中小零細企業の経営力を伸ばすハンズオン支援および必要な支援メニューの設計                      2)出張講演・相談で「場づくり」「事業活性化」「IoT時代の地方戦略」について                      3)天草の事業者やIT事業者との連携</p>
芳賀 沼 伸	はがぬま しん	株式会社芳賀沼製作 / NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク (株)マストロ・ジェベット / NPO法人南会津はりゅう里の会	<p>&lt;株芳賀沼製作 概要&gt;                      ・国内でログハウスの先駆者として、ログハウス村「はりゅうウッド村」を35年前より建設し、現在98棟となる。                      ・2011年東日本大震災後、福島県木造仮設住宅でログハウスでの仮設住宅の提案者メンバーとなり、600棟を建設する。</p> <p>&lt;NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク 概要&gt;                      ・地元林業従事者21団体(3森林組合含む)と木材(立木)の価格を守り、収入を増やす為、古くて新しい産業づくりを展開(素材での有効活用法)。                      ・森林認証材の具体的活用法を提案、実施(A・B材-縦ログ・家具、B・C材-日用品・玩具、C材-アロマ、薪利用)</p> <p>&lt;株マストロ・ジェベット 概要&gt;                      ・町内加工業者4社と都市在中デザイナーと組み、海外(ヨーロッパ・中東・アジア)を見据えた木製玩具の販売展開中。</p> <p>&lt;NPO法人南会津はりゅう里の会 概要&gt;                      ・地元住民とターナー・二地域居住者(土地を借地方式とした「はりゅうウッド村」の住人)による、山村での豊かな生き方・暮らし方の実践を現在進行中、事務局の役割をになう。アロマ事業を開業し、地元住民が採取した枝葉でオイルを精製し、出口販売先と共同で新しい職づくりを展開。                      ・山村大学から継続している野外教育事業を発展し、広大なフィールドを活用した新たな観光産業を展開。</p>
白田 典子	はくた のりこ	(有)良品工房	<p>「いいものプロジェクト」を推進。消費者の声をメーカーや小売店に届ける仕組みをつくり消費者が選んだおすすめ商品・訪れた地域で見つけた商品をセレクトし販売している。地域商品のブラッシュアップや新商品開発へのアドバイス等も手掛ける。                      【平成23年度実績】岐阜県飛騨市神岡町</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
畠田 千鶴	はただ ちづる	一般財団法人 地域活性化センター	<p>■活動テーマ 地域活性化全般、自治体アンテナショップの運営、地域ブランド、地域プロモーションの講演、執筆、委員、アドバイザー、調査・研究</p> <p>■主な活動 【講演・講義】官公庁、地方自治体、大学、民間企業、経済団体ほか ・財務省北陸財務局「北陸地域創生フォーラム」2016年11月29日</p> <p>・滋賀県商工会連合会「地域ブランド研修」2016年6月11日、8月23日 ・早稲田大学「立ち上がれ！早稲田大学地方創生フォーラム」2016年10月14日 ・自治体国際化フォーラム「海外自治体幹部交流協力セミナー2016(北京)」2016年11月9日ほか</p> <p>【アドバイザー、委員】地域ブランド、アンテナショップ運営(三重県、鳥取県、島根県、広島県ほか)</p>
蜂谷 潤	はちや じゅん	一般社団法人 うみ路 / 合同会社 シーベジタブル	<p>2013年3月、高知県東端に位置する室戸を拠点とした地域の会社「一般社団法人うみ路」を設立。 主に地域内で生産される農産品や水産品を使用した加工品の開発や販売、地域内外の交流イベントや勉強会の企画、カフェの運営など地域に根ざした事業を多岐にわたって展開している。</p> <p>2016年4月、海藻の陸上用養殖を中心に行う合同会社シーベジタブルを設立。 室戸市の特産品である海洋深層水で海藻の陸上養殖モデルを確立。その後は日本各地で展開できるよう、海水井戸水(地下水)を活用し海藻やアワビ類の陸上養殖のモデル作りを行ってきた。現在はこのモデルをもとに、福祉作業所や高齢者等、成立させることが難しい事業者とパートナーシップを組んだ日本各地での事業モデル作りを行っている。</p>
服部 年明	はっとり としあき	有限会社 リテイルウォーク / 株式会社 全国商店街支援センター	<p>① 02年から5年間長野TMOタウンマネージャー就任。大型空店舗が相次ぎ撤退した中央地域と、空洞化した善光寺門前の活性化に取り組む。まちづくり会社を設立し、地域住民の要望に応え、市と連携し大型空き店舗に公益の交流と子育て支援施設と直営の食品スーパーを開設、同時に500人を雇用するコールセンターを誘致した。次いで善光寺門前の連鎖する空店舗及び蔵、居宅を活用し、パティオ形式の商業施設を開設。同駐車場整備等5事業を事業化。一方で民間事業を誘発しまちなか居住、空店舗へのテナント誘致に取り組み、空洞化した中央地域再生の口火を切る。一方で後継のタウンマネージャー育成に取り組む。</p> <p>② 商店街支援センターにおいては、全国各地での地域商店街活性化活性化計画策定と事業推進の指導、支援にあたる一方で、個店の魅力向上と繁盛店づくり、次代を担う人材の育成に取り組む。</p> <p>③ 中活アドバイザーとして、伝道師として上越市、焼津市、沼田市などの中心市街地活性化計画検討の指導、助言にあたる。</p>
引地 恵	ひきち めぐみ	株式会社WATALIS / 一般社団法人WATALIS	<p>震災後は、亶理町職員として救援物資を担当し、体育館内で物資の搬入・搬出などに携わる傍ら、地域文化伝承講座の開設や宮城大学と連携した学習支援(稲盛財団東日本大震災復興ボランティア助成事業)、日本ヒブノセラピー協会主催のメンタルケアセミナー(独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業)の運営などのボランティア活動を実施した。亶理町職員退職後、WATALISを立ち上げ、東日本大震災の被災地域において、着用地を再利用した手しごとによる商品を企画・販売し、長時間の就労が困難である高齢の女性や乳幼児を持つ母親などに対する就労支援を行い、地域経済活性化の一助としている。受け継がれてきた地域の文化や人々の思いを商品という形にし、様々な世代の女性たちがその製作者となることで、地域社会が潜在的に持つ高齢者の知恵や縫製技術などの人的パワーを掘り起こし次世代に受け継ぎながら、既存の枠組みを越えたあらたな地域コミュニティを創り持続発展させる事業を実施している。</p> <p>2014年1月:復興庁主催REVIVE JAPAN CUP大賞受賞、eco japan cup入賞</p>
平井 利長	ひらい としなが	日本貿易振興機構(ジェトロ)	<p>日本貿易振興機構(ジェトロ)では、我が国の貿易の振興に関する事業を総合的かつ効率的に実施することを目的に以下のような業務を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易に関する調査をし、及びその成果を普及すること</li> <li>・我が国の産業及び商品の紹介及び宣伝を行うこと</li> <li>・貿易取引のあっせんを行うこと</li> <li>・貿易に関する出版物の刊行及び頒布その他の貿易に関する広報を行うこと</li> <li>・博覧会、見本市その他これに準ずるものを開催し、若しくはこれらに参加し、又はその開催若しくは参加斡旋を行うこと</li> </ul> <p>本部(東京)のほか、国内42カ所、海外76カ所の拠点で、皆様の活動を支援します。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
藤井 一郎	ふじい いちろう	四国大学 経営情報学部	四国大学では、主として地域中堅中小企業のマーケティング戦略、経営戦略、ファイナンスの研究および講義を行っています。 また、株式会社みどり合同経営では、以下を中心に活動しています。 ①地域活性化をもとにした、中小建設業や製造業・飲食サービス業の経営戦略、マーケティング戦略の構築・支援 ②地域の金融機関との連携による地域に貢献する中小企業へのサポート
藤井 信雄	ふじい のぶお	四日市市役所(三重県)	・都市計画課で近鉄四日市駅西の四日市工業高校跡地開発を担当 ・企画調整課で名古屋圏の主要5都市(名古屋市・豊橋市・岐阜市・浜松市・四日市市)による都市間ネットワークや総合計画策定、四日市地域総合開発整備構想策定などを担当 ・商工課で中心市街地活性化基本計画策定や四日市工業高校跡地開発のリニューアルオープン、技術集積活用型産業再生特区などを担当 ・市民文化課で市民活動による地域再生計画や博物館内の丹羽文雄記念室整備などを担当 ・四日市港管理組合で四日市港長期構想の策定などを担当 ・政策推進部で2011年度から2020年度までの新たな総合計画(基本構想・基本計画・第1次推進計画)の策定、並びに第2次推進計画の策定(2014年1月)、四日市市産業活性化戦略の策定(2014年3月)、四日市市産業活性化戦略に関する提言書に掲げられた先導的事業の推進(2014年度)などを担当
藤木 徳彦	ふじき のりひこ	オーベルジュ・エスポワール/日本ジビエ振興協会	野生鳥獣を地域の資源として活用するために、商品力をつけること、販売の方法をアドバイスする。調理に携わるプロとして、魅力ある精肉の商品づくり、調理が難しい野生鳥獣をおいしく活用できる調理方法の講習、指導、野生鳥獣と地域の特産品を組み合わせた加工品の開発指導を行う。できあがった商品は地域のみならず、大消費地にプロモーションを行い、滞りがちな流通を開く。「信州ジビエ」の例では、長野県内のジビエを使い、長野県内の福祉施設で加工品を製造し、JR東日本エリアのエキナカの飲食店において開発した商品でのメニュー提案を行い、ジビエの加工品の流通を実現した。東京駅でのジビエ弁当販売や、都内レストランを借りての地域フェアなどで地域のセールスを行う。
藤田 勲	ふじた いさお	一般財団法人 神成文化の森 藤田財団 / 藤田株式会社	【球磨人吉 地域づくり委員会】 平成27年5月18日 球磨・人吉が、相良が生んだ保守と進取の文化、日本でもっとも豊かな隠れ里人吉球磨として日本遺産に熊本県で認定第1号となりました。より多くの人達が人吉球磨に来て頂けるよう、官民一体となった地域づくり、木の文化を全国、世界に発信する初めてのモデルになるよう、「日本、木の文化と地域づくり」を人吉球磨の各市町村の民間、行政、政治家、宮司、住職の皆さまにご出席いただき、開催をいたしました。 【ラオスフェスティバル2015】 平成27年5月23日～平成27年5月24日 東京都渋谷区代々木神園町 代々木公園イベント広場でラオスフェスティバル2015が開催されました。藤田勲もラオスフェスティバル実行委員会の 副会長、主催者の一人として参加し、ラオス外交関係樹立60周年記念のお祝いヒメザクラ(看板)高さ2.2m、高さ1.8mの計2枚をお贈りさせていただきました。また伝道師として実行委員会の皆さまへ日本、木の文化の素晴らしさをお伝えをさせていただき、本桜の拍子木もお贈りさせていただきました。日本、木の文化とスポーツ文化の振興を日本、そして世界に向けて力を入れ発信してまいります。
藤原 啓	ふじはら けい	株式会社シーズ総合政策研究所	私は、島根県雲南市旧吉田村において昭和58年から現在まで続く「鉄の歴史村づくり」(たたら製鉄の歴史的遺産を活かし、価値向上と情報発信を行うことで地域ブランド価値を高め、ものづくり、交流サービスなどの地域経済振興を図ろうとする活動)を、自治体職員として創始した創業者のもとコンサルティング活動に取り組んできました。前述旧吉田村が雲南市として再スタートする際には、地域と民間が主体となった継承をめざし、平成16年に住民有志とともに株式会社鉄の歴史村を起業。古民家カフェの開業、安全安心の食の加工品製造を軸とする地域ビジネスの起業を実践してきました。こうした現場で蓄積してきたノウハウをもとに、中山間地域における地域資源活用や課題解決を目的とするコミュニティ・ビジネス、ソーシャルビジネスの検討から立ち上げ、実施に至るまで支援して参りました。さらに、中山間地域の現場で元気にコミュニティデザインを実践する若き担い手世代とのネットワークを活かし、首都圏在住のソーシャル層を対象にした講座「しまこアカデミー(島根県)」を平成24年に、雑誌ソコとともにプロデュース。首都圏在住のソーシャル関心層を対象に、都内での連続講座と現地実習によるプログラムを展開。4期が終了した現在までの4年間に受講生の約3割の島根に移住。また、島根県内での起業3件などの成果があがっています。さらに、2015年度にプロデュースにあたった、首都圏から広島県内の中山間地域の課題解決を支援する仕組み「ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト」では、50名近い受講生が6市町チームに分かれ、全国に知られるローカルベンチャーなどの実践者8名をメンターとして、半年間講座と現地実習を実施。修了後、各市町の活動を首都圏で応戦するためのNPO法人の設立や自主事業が展開されるなど自立的な活動につながっています。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
藤村 望洋	ふじむら ぼうよう	早稲田エコステーション研究所 (ぼうさい朝市ネットワーク)	<p>災害を想定しながらも「美味しく楽しい」地域活性化活動「ぼうさい朝市」の仕掛け人。かつての北前船ルートでつながる港町をネットワークして、日頃から防災をテーマに活動し、いざというときの救援物資に見立てた特産品(美味しい救援物資)を全国各地から運び込み、地域住民が訓練を兼ねて設置したテントで販売する産直市「ぼうさい朝市」を開催。この仕組みを活用して、山形県庄内地方の特産物の大阪への流通コースを構築する「特産物のフルコースディナー」を開催(H23年度山形県鶴岡市と酒田市と大阪を結ぶ地域活性化伝道師活動)。</p> <p>「ぼうさい朝市ネットワーク」では、いざという時は混乱する被災地ではなく、安全な「隣」が拠点となって支援する仕組みを提唱。壊滅的な被害を受けた南三陸町「おさかな通り商店街」もネットワークに参加しており、その経過から、山形県酒田が「災害時の隣」となり、全国各地から酒田を中継基地として南三陸町へ救援を行い、第2段階で「福興市」を立ち上げ、第3段階で地方都市と南三陸を結ぶ地域連携による商店街再生のビジネスモデル構築を支援している。「福興市」はH23年度「地域づくり大賞」を受賞。H24年3月、全国からの被災地支援団体・企業と被災地の地元団体をつなぐコーディネート組織「一般社団法人南三陸福興まちづくり機構」を設立。漁業及び林業の6次産業化を全国連携で取り組んでいる。</p> <p>瀬戸内海は、エーゲ海やカリブ海に勝るとも劣らない歴史と風景と地域資源をもつ海洋観光の最適エリアである。しかしエーゲ海等で今や巨大な観光産業となっている小型船による島めぐりクルージングはほとんど行われていない。国際的な海洋観光産業を瀬戸内海に事業構築するために、瀬戸内海の島々のNPOや地元自治体や各種の専門家と連携して一般社団法人日本海洋観光推進機構を設立。</p>
藤原 一夫	ふじわら かつお	藤原コンサルティング	中小建設業の経営革新、再生、新分野進出等、建設業関連専門の経営コンサルタントとして経営指導等を業務とする傍ら、中小企業診断協会東京支部の建設業経営研究会の代表幹事として、建設業経営の情報交換・勉強会を主催しております。
古庄 浩	ふるしょう ひろし	(株)古庄企画	<p>大手ホテルの総料理長、山形県庄内・食の親善大使、テレビ料理番組レギュラー出演、地域の食文化の講演会など経験豊富。</p> <p>「地産地消」。現在の主要流通ルートは、大量生産と大量流通を前提として組み立てられており、その中に小規模生産者も料理人の調理場も小規模販売者も組み込まれ、互いの連携や流通ルートを持っていない状況である。地産地消を、生産と販売だけの仕組みだけでなく、料理の現場と料理のノウハウと料理人のネットワークという視点を加えることにより、特にこだわりの小規模生産者に対して、生産方法や生産物の種類の考え方と新たな販路を協働で構築することが可能となり、商店街の店舗や飲食店舗は、大手スーパーにない独自色を出したメニューや品ぞろえが可能となる。地域の食材を使つてのフルコースディナー付き商談会の開催や、伝統的食材とその料理方法をプラスした直売所の運営などを通して、食材と料理と商店街が協働で行う地産地消の推進による地域活性化の取り組み。</p> <p>「新たな全国流通ルートの構築」。料理人の全国ネットワークの活用によって、料理人が推薦する食材を、料理人が推薦するレストランやスーパーで販売する、小規模な生産者と、料理人と、販売者やレストランの連携による新たな流通ルートの構築。「北前船ルートぼうさい朝市ネットワーク」の全国各地と連携する大阪圏のシェフを「蔵奉行」に認定し、ふるさと食材使った料理とその食材の販売を推進するシェフのネットワークを構築している(現在35名のシェフを認定)。</p>
堀田 誉	ほった ほまれ	(株)里山ホテル	<p>新しい里山と人とのつながりの模索と、里山資本主義の実現を目指した、宿泊施設の経営。</p> <p>主に、地域内の方々と連携した魅力の掘り起しや、地域と密接につながった社内組織づくりを展開し、自己理解・他者理解に基づく「自分たちで考える適材適所」プロジェクトやビジョン・ミッション・バリューに基づいた組織・人事制度などを構築。</p> <p>有志による里山資本主義フォーラム実行委員会メンバーとして、里山資本主義の深化や地域のネットワーキング活動にも取り組む。</p>
本田 勝之助	ほんだ かつのすけ	本田屋本店 有限会社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業と食から実績を積んだ地域プロデュースの総合専門会社を経営。</li> <li>2. 代表商品は「本田屋継承米(氏郷)」。肥料開発及び、生産管理、販売まで一貫して行っている。納入先には銀座久兵衛や金田中などの名店、京都伊右衛門サロンなどカフェレストラン等で使われている。</li> <li>3. 全国各市町村への戦略的アドバイス、ブランドや商品開発、産業活性化への各種取り組みなどの要望に応え、地域との官民連携で戦略的にプロデュースしている。</li> <li>4. 伝統工芸品のリブランド、商品開発。(Futradition WAOとの協業)</li> <li>5. クリエイティブ:PR制作物(コピー、ポスター、リーフレット、映像、各種)</li> <li>6. 観光やまちづくり、スマートシティ等のモデルづくり。</li> <li>7. 日本遺産認定の全地域に対しての統括プロデューサー業務</li> </ol>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
本田 節	ほんだ せつ	有限会社 ひまわり亭	1998年に、地域のボランティアグループ「ひまわりグループ」のメンバーと共に地域の主婦たちによる地産地消の農村レストランを立ち上げました。 「もったいない」をキーワードとし、地域の財産ともいえる「おばちゃん・おばあちゃんの知恵・経験・技・感性」を活かさないのは「もったいない」、地域の素晴らしい食材を活かさないのは「もったいない」、取り壊し寸前の築120年の古民家が「もったいない」、ということで古民家を移築したお店を拠点に地域の素材を出来る限り活用し、安心安全な食を提供しています。 また、「食」を通して、地域づくりへの貢献や食育活動、女性の起業アドバイスにも力を注いでいます。 さらに、2002年頃からは、グリーンツーリズムの推進にも積極的に取り組んでおり、地元地域を巻き込んで「広域連携によるグリーンツーリズム実践」を推進しています。 日本各地、さらには韓国等国外からの視察研修を受入れており、学生のインターンなども積極的に受入れております。
松井 利夫	まつい としお	株式会社 アルプス技研	○「認定 特定非営利活動法人(NPO) 地域産業おこしに燃える人の会」会長。 ○第三セクター「株式会社さがみはら産業創造センター」初代社長(現在退任)。 ○岩手県北上市「北上しらゆり大使」、および「工業振興アドバイザー」 ○北海道士幌町「まちづくりアドバイザー」 ○国内外の大学7校に、起業を目指す学生を対象とした松井奨学金制度を設置。 ○約20社のベンチャーを応援、エンゼル投資をする。 ○公益財団法人起業家支援財団、認定NPO法人ふれあい自然塾を、個人資産を投入し設立。社会貢献活動に注力。
松嶋 匡史	まつしま ただし	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	手作りジャム専門店「株式会社瀬戸内ジャムズガーデン」代表取締役。周防大島観光協会副会長のほか山口県のキャリア教育推進委員や活力創出推進会議委員なども務める。 2001年10月に新婚旅行先のパリでジャム屋と出会い2003年11月個人事業として手作りジャム専門店を高齢化率日本一と言われた瀬戸内の島、周防大島(山口県)にて創業。 耕作放棄地を借り受けて自社農業部門を立上げ、現在はブルーベリー・あんず・金時いも・いちご等を生産。店舗では自家製ジャムを活用したスイーツが楽しめるカフェギャラリーを運営するなど、ジャム加工のみでなく、農業(一次産業)・加工業(二次産業)・サービス業(三次産業)をミックスした6次産業形態の事業を展開。地域を巻き込んだ6次産業化を実践している。地域資源を活用し、地域に産業と雇用を創出することを主眼に活動を展開し、現在では首都圏からの移住者を含めスタッフは30人の規模。最近はお寺と連携した空き家のリノベーションで移住者の呼び込みを行ったり、全国初の小中高連携起業家教育への取り組みなど活動は多種多様。2014年新書大賞受賞の「里山資本主義(角川書店)」などでその取り組みが紹介されている。
松島 信雄	まつしま のぶお	(公益財団法人)南信州・飯田産業センター	地域の中小企業の体質改革と新産業クラスター形成に取り組んでいる。事業は4つの柱を基本にしている。 ①ネットワーク形成と地域連携事業:広域連携としては新潟等との協力活動を展開している。飯田地域においては企業間の交流を通して相互の信頼を高め、協力風土の醸成を図っている。また産学公の連携で地域のポテンシャルアップに繋げている。 ②新産業クラスターの育成:航空宇宙クラスターの形成を重点プロジェクトとして位置づけている。 4つのワーキングチーム活動を通してQMSの体制確立や技術の向上を図りながら地域一貫生産、共同受注を目指し、実績を上げている。 ③販路開拓支援:マーケティング機能を持たない中小企業にとって販路開拓は大きな課題である。海外も含めた展示会出展や顧客開拓支援に力を注いでいる。海外市場開拓支援としてParis,Farnborough,Belrin,Singapole,Toulouse,NBAA等のAirshowに出展参加してきた。 ④人材育成:技術・技能のレベルアップと後継者育成を目指して、働きながら学ぶ風土を醸成しようと産業技術大学を立ち上げ夜間、休日を中心に運営している。年間150社を超える企業から延べ2000人近い企業人が学んでいる。2014から地域企業人材共同育成事業の経産省委託を受け、プロジェクトマネージャーを務めている。航空宇宙のQAと生産技術コンサルティング、非破壊検査員の育成に取り組んでいる。
松村 拓也	まつむら たくや	一般社団法人 日本土地資源協会	「空き家を生まない社会の実現」を目指し、ランドリソース活動を展開中。 空き家など、放置されている土地は民有地であることに着目し、民有地の利用・整備・保全に取り組む民間による公益事業を展開中。 東京世田谷で個人の住宅を地域に開放してコミュニティを育てる「笑恵館」を運営中。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
政所 利子	まんどころ としこ	株式会社 玄(げん)	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域／環境計画・総合プロデュース 地域計画・環境計画・公共事業・事業計画・産業活性化計画の総合プロデュース</li> <li>地域ブランド・国産ブランド／商品開発・商品企画／人材教育 プロダクト・プランニング・ビジネスプロデュース・メディア計画</li> <li>地域PR・SP計画の企画制作 SP企画、マーケティング計画、メディア計画、総合コミュニケーションプロジェクト</li> <li>行催事の企画制作・実施／海外向け地域ブランドPR事業の企画制作 イベントのプランニングからのプロデュース、実施</li> <li>グラフィック・エディトリアル・映像・立体デザインの企画制作 SP・PR・コピー編集、デザイン、展示映像制作等のマルチメディア企画</li> <li>都市計画・地域計画・事業計画に関わるソフト事業の企画・設計と運営管理 地域計画に関連する人材教育の各種ツール制作、快適環境整備等のソフト事業設計</li> <li>和學塾食会議事務局 国産食材のPR事業を通じて国内農産品生産地の活性化と次世代の後継者づくりに貢献します。</li> </ol>
三上 亨	みかみ とおる	(一社)政策集団地域再生青森会議 NPO法人グリーンエネルギー青森	<p>2003年度 あおもり市民風力発電所建設(建設費3億8000万円)</p> <p>2004年度 市民風車ブランド「風丸」(青森県在来種枝豆)の販売開始</p> <p>2004年度 コミュニティビジネスと地域再生の支援開始</p> <p>2005年度 市民・NPO・町協働の「鱒ヶ沢マッチングファンド」助成事業開始(～2008年度)</p> <p>2005年度 グリーンエネルギー青森が、総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。</p> <p>2005年度 津軽鉄道・津軽鉄道サポーターズクラブの支援開始。</p> <p>2006年度 都市再生モデル調査で、津軽鉄道再生に向けたアクションプランを策定。</p> <p>2007年度 青森県大鰐町で、OH!!元気隊の設立を支援。町再生に向けたアクションプラン策定。</p> <p>2008年度 津軽鉄道サポーターズクラブが総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。</p> <p>2008年度 元気隊有志がプロジェクトおおわに事業協同組合を設立。赤字施設「大鰐町地域交流センター鰐come」の指定管理受託決定。</p> <p>2009年度 指定管理受託初年度で、鰐comeの黒字化を達成。</p> <p>2012年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が、地域づくり総務大臣表彰を受ける。</p> <p>2016年度 大鰐町大鰐増産推進委員会地方創生事業受託</p> <p>2016年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が地域づくり国土交通大臣賞金賞を受賞</p>
宮 桂子	みや けいこ	NPO法人 菜の花トラスト	'97菜の花サポーター(第1期)登録
三宅 曜子	みやけ ようこ	(株)クリエイティブ・ワイズ 株式会社マーケティング・ナビ	女性の感性を生かし、消費者ニーズを的確にとらえた中小企業のマーケティング全般の支援、地域の活性化事業支援を行っています。特に食関連のマーケティングに関しては、メニュー開発をはじめとする商品開発、パッケージやラベル、広告戦略、販路開拓までトータルに支援。工芸品に関しては、広島県熊野町の化粧筆を世界レベルのブランドにプロデュースするなど、商品開発から戦略支援までを実施。2007年、経済産業省の中小企業地域資源活用事業プログラムの政策審議会委員、また、衆議院経済産業委員会、中小企業地域資源活用促進法案参考人として国会に立ちました。以後、地域資源を活用した商品開発や販売促進、販路開拓、観光事業開発、農商工連携事業や農業の六次化、建設業の業態拡張や業態転換、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、海外展開支援等、中小企業の活性化に対する幅広いハンズオン支援を行っています。
望月 孝	もちづき たかし	株式会社プロジェクト地域活性	東北地域において、地域の人財育成・確保、農商工連携等6次産業化・地域ブランドの推進、観光・ツーリズムの推進等、地域の「人財」を核にして地域活性化を支援しています。現在、東日本大震災からの復興農商工連携等6次産業化による地域の活性化に重点を置き、東北地域の6次産業化を担う人財を育成・確保する『6次産業化プロデューサー育成塾』『東北のムラで働き隊！プロジェクト』等の取組みを実施しています。
森 昭彦	もり あきひこ	有限会社オフィス・ビー／一般社団法人奈良県中小企業診断士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の育成と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 管理者、監督者に対するマネジメント研修、リーダーシップ研修、経営管理セミナー実施</li> <li>- 営業基礎研修、営業マネージャー研修、販売促進研修実施</li> <li>- 採用支援、人材開発プログラム企画推進</li> <li>- コンプライアンス、内部統制、リスクマネジメントの推進</li> </ul> </li> <li>地域活性化の支援と指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地域活力増進事業、地域連携事業の支援・指導</li> </ul> </li> <li>ビジネスモデルの構築、事業計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新事業開発、経営革新、農商工連携、地域資源活用、6次産業化の支援</li> <li>- 小売業、サービス業等の財務分析、ビジネスモデル構築、新規事業戦略策定の支援</li> </ul> </li> </ul>



氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
森賀 盾雄	もりが たてお	愛媛大学	<p>長年、市行政の内部と外部を結び、研究会や市民団体を組織して、地域づくり・産業おこしに取り組んできた。それらの成果を生かして全国で講演・地域づくりの支援・アドバイザー・企業社員研修等を行ってきた。とりわけ地域資源を活かした地域づくり・人材づくり・産業遺産の活用・産業観光・NPO活動で実績を残している。市職員から大学教授になり教育・研究を進めており、環境・農山漁村の地域再生や起業論をも対象とした幅広い分野での対応・取組となっている。テーマとしては「地方工業都市の産業文化創造都市への発展」「産業遺産を活用した地域づくり」「これからの地域づくりの主体形成とマネジメント及びマーケティング」「地域起業マネジメント」等である。愛媛大学での「紙産業修士コースの創設」、社会人「地域マネジメントスキル講座」を開設で中心的役割を担い、後者では150名の受講修了生を愛媛大学地域再生マネージャーとして送り出している。2014年度からは愛媛大学地域再生マネージャーのさらなる学びのための「地域再生塾」「須崎未来塾」「いにはま未来創造塾」の塾長として、講座を超えた「私塾の実践的人財づくり」を精力的に取り組んでいる。</p>
森本 明夫	もりもと あきお	-	-
安井 潤一郎	やすい じゅんいちろう	NPO法人全国商店街まちづくり実行委員会	<p>環境を切り口とした商店街活動に取り組み、「ごみからまちおこし」として注目を浴びる。何も無い早稲田の町に日本中の修学旅行の生徒が見学に来る、「ごみ減量リサイクル」が「震災対策事業」「地域通貨事業」「まちづくり」へと進化し、定住人口が増加という奇想天外な「まち場」の活動を展開中。</p>
箭内 武	やない たけし	株式会社YANAI総合研究所	<p>1. 改善コンサルティング(セル生産方式) 材料メーカー、家電、電子部品、機械加工、製造工場の現場改善を中心としたコンサルティング。調剤薬局の在庫削減、労働時間の改善など。</p> <p>2. 人財育成 青森県、八戸市等の人材育成プログラムに従事。高校生、大学生、社会人の研修講師として活動。 八戸学院大学客員研究員として地域社会人向けセミナーを行う。</p> <p>3. 企業マッチング支援 ものづくりコーディネーターとして産学官の連携、企業の国内外のビジネスマッチングを企画実施。</p>
山川 進	やまかわ すずむ	公益財団法人 三重県産業支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業誘致」…製薬会社、外資系企業など大型企業誘致を実現。東京、福岡において「SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)形態」での企業誘致活動を行い、企業・行政との新たなネットワーク構築を行う。</li> <li>・「新たな企業投資促進制度の創設」…マイルージ制度、マザー工場化の促進などを柱とする新たな制度を創設し、県内への企業投資を促進。</li> <li>・「コンビナートの再生」…行政・産業界が協働した、規制改革や新たな産業展開の内容をパッケージとし、構造改革特区に申請、第1号認定を受けることに尽力する。</li> <li>・「様々な連携」…「地域発のオープン・イノベーション創出」を行う「高度部材イノベーションセンター(AMIC)」を三重県四日市市に設置。地域の産業構造の「知識集約型産業構造」への転換を目指す。ここで、現在も異業種・同業種連携、大企業と中小企業の連携、各種課題解決、産業人材の育成などを行っている。</li> <li>・「温泉街の活性化」…三重県菟野町の湯ノ山温泉にて、各業者での取組を地域一丸となったものへとコーディネートし、「女将の会」結成などにつなげる。</li> <li>・「町おこしリーダー研修」…三重県紀北町の町おこしリーダー研修にてアドバイザーを務め、研修生の成果を行政や地元産業界とも連携した継続的な取組へと繋げる。</li> <li>・「中小企業連携(シンジケート)の促進」…複数のものづくり中小企業が得意とする技術やノウハウを結集し、技術レベル向上や新たなマーケット開拓などにつなげるための中小企業連携体の構成に尽力。三重県には全国トップクラスの連携体が構成されるに至っている。</li> <li>・「三重県海外ビジネスサポートデスクの開設」…成長する新興国等の市場を取り込むため、中小企業の海外展開を支援する「海外ビジネスサポートデスク」(中国、ASEAN)の設置に尽力。</li> <li>・「三重県と北海道との産業連携」…『「三重県・北海道」産業連携推進会議』の設立に尽力。三重県と北海道の「ものづくり技術」と「地域資源」の連携を進め、新たなビジネスの創出、さらには地域経済の活性化に繋げる。</li> <li>・「首都圏営業拠点「三重テラス」…東京日本橋において、三重県の魅力を総合的に発信する拠点「三重テラス」の開設に尽力。</li> <li>・「三重県中小企業・小規模振興条例の策定に尽力</li> <li>・職員研修センターで県職員向けの研修を実施。三重県職員の人づくりの参画、三重県の商工部門の第1人者として活躍した経験を基に、自ら研修講師として三重県職員に語りかけることで、現場を大切にしている職員を育成。</li> <li>・経済産業省の「ひとつの切磋琢磨による地域創生実行会議」の委員として参画。</li> <li>・沖縄県と連携して、沖縄の物流特区を活用した東アジア戦略を模索するほか、他地域との連携を検討中。</li> <li>・各地の事業者や産業支援機関と連携し、地域商社等を通じて地域製品の販売を促進。</li> </ul>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
山岸 國耿	やまぎし くにあき	公益財団法人 長野県テクノ財団	長野県テクノ財団は、県内の製造業を技術力向上の面から支援し、産学連携による共同研究開発や人材育成事業などを実施しています。技術者等の参加者数が年間延べ2万名余と年々増加し、企業等からの期待の大きさをうかがわれています。工業振興に係わる様々なソフト事業を実施しており、「ソフト事業の殿堂」とも言われる程多くのノウハウが蓄積されています。 私自身は、この財団の前身である長野県テクノハイランド開発機構が設立された昭和61年以来4回、延べ13年間当財団に勤務し、先輩等の指導と仲間の協力を頂きながら、その一端を担わせていただきました。
山戸 健	やまと たける	熊本ネクストソサエティ株式会社	官・民連携をテーマに、特にITを活用した食の流通促進の仕組みを構築してきました。 □経済産業省・農林水産省 農商工連携事業 認定 「不知火海など熊本近海で採れる生鮮魚介類の新流通システム構築事業」 □熊本市 平成23年～25年 こだわり熊本やさい地域内流通モデル支援業務 □熊本県 商工観光労働部テーマ選択型地域雇用創造事業 「熊本県の農林水産業者・食品加工業者への情報提供による新商品開発および販路開拓機会の創出」 □熊本市 地場企業雇用支援事業 「県内外からのお問い合わせに対応する、熊本市の生産物・加工品・6次化商品等の検索システム開発による販路拡大支援事業」 □フード・アクション ニッポン(共催:農林水産省) 平成25年度 フード・アクション ニッポン アワード 流通部門 優秀賞 「「フードバンク」を活用し「顔の見える生産者」を発信」
山中 守	やまなか まもる	国立大学法人 熊本大学	情報化社会が進めば進むほど、東京と地方との格差が拡大してきております。本来、情報化は地方が元気になる手段です。情報化をアイデア豊かに活用することにより、地域経済は再生します。これまでの取り組み実績を踏まえて、地域再生を実践していきたいと思っております。 詳しくは、上の欄に書いております著書をご覧ください。新しいアイデアによる地域再生の方法について具体的に説明してまいるのでご理解いただければと思います。
山本 和子	やまもと かずこ	有限会社 農業マーケティング研究所	★委員会など★ ● 農林水産省農林水産政策研究所参与(2002年～2006年) ● 農林水産省独立行政法人評価委員会委員(2003年～2007年) ● 農林水産省政策評価会農村振興局専門部会委員(2004年～2007年) ● 農林水産省政策評価会経営局専門部会委員(2004年～2007年) ● 内閣官房地域活性化統合事務、局首都圏地域活性化推進連絡会議委員(2007年3月～2011年) ● 内閣官房地域活性化統合事務局「地域活性化伝道師」(2008年9月～)
米田 雅子	よねだ まさこ	慶應義塾大学 先導研究センター	2007年～2010年に内閣府規制改革会議委員(地域活性化、農林水産業、あじさい・もみじ要望を担当)。補助金適化法の弾力運用、ボランティア有償運送の実現、農地法・酒税法・森林法改正に寄与。 構造改革特区評価・調査委員、PFI推進委員会委員、経産省の農商工連携88選委員長等を歴任。農商工連携、林建協働、平成検地の政策を提唱。 現在は、建設産業、建設業の複業化、防災、森林再生、地方公共政策など幅広い分野で、フィールドワークを重視した研究と支援活動を行い、大震災後の防災・減災政策にも取り組む。日本学術会議会員。建設トップランナー倶楽部代表。上閉伊地域(釜石、遠野、大槌)復興住宅協議会顧問。JAPIC(日本プロジェクト産業協議会)森林再生事業化委員会特別顧問。国産材マーク推進会特別顧問。防災学術連携体(日本学術会議と連携)事務局長。